
九州大学

ユニバーシティ・アイデンティティ
デザインマニュアル



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

はじめに

九州大学は、平成 19 年（2007 年）に、大学が発行する各種印刷物や、サイン、Web サイトなど、人々の目に触れる対象の視覚的デザインを統一し、それによって九州大学のイメージの統一を図ることを目的としたユニバーシティ・アイデンティティ（UI）を制定しました。

本マニュアルは、UI を効果的に運用するために作成されました。その後、運用にあたって生じた問題やそのための試行錯誤を踏まえ、制定から 10 年近く経過した平成 30 年度（2018 年度）に、内容の大幅な改訂作業を行いました。

平成 30 年度の改訂作業は、UI の基礎編を対象としており、アプリケーションに関しては、アプリケーション編として今後補完する予定です。

目次

1

UI について 1

UI とは何か	1-2
UI と部局シンボル	1-3
VI の考え方	1-4

2

UI の基本要素 2

シンボル	2-2
ロゴタイプ	2-3
UI カラー「九大ワインレッド」	2-4
UI カラーのシンボルロゴへの適用	2-5
シンボルとロゴタイプの組み合わせ	2-6
1. 垂直方向の組み合わせ	2-6
2. 水平方向の組み合わせ	2-7
シンボルロゴの割り出し図	2-8
組み合わせの基本的類型と用法のまとめ	2-10
フォント	2-11
シンボルの単独使用も可能	2-12
ロゴタイプの代用は禁止	2-12
その他の禁止事項例	2-12

3

基本要素の使用 3

アイソレーション	3-2
シンボルロゴのサイズ	3-3
シンボルロゴと背景	3-4
シンボルロゴと部局等名称との組み合わせ	3-5
シンボルロゴと部局等名称との組み合わせ	3-6
[標準仕様]	3-6
事例	3-7
シンボルロゴと部局等名称との組み合わせ	3-8
[独自のシンボルを用いる場合]	3-8
事例	3-9
Web サイトにおける留意点	3-10

4

アプリケーション編 4

封筒、レターヘッド、名刺	4-2
封筒 -1	4-3
封筒 -2	4-4
封筒 -3	4-5
封筒 -4	4-6
封筒 -5	4-7
封筒 -6	4-8
封筒 -7	4-9
封筒 -8	4-10
封筒 -9	4-11
封筒 -10	4-12
封筒 -11	4-13
レターヘッド -1	4-14
レターヘッド -2	4-15
レターヘッド -3	4-16
レターヘッド -4	4-17
名刺 -1	4-18
名刺 -2	4-19
名刺 -3	4-20
名刺 -4	4-21
名刺 -5	4-22
定期的に刊行される印刷物 -1	4-23
定期的に刊行される印刷物 -2	4-24
定期的に刊行される印刷物 -3	4-25
定期的に刊行される印刷物 -4	4-26
定期的に刊行される印刷物 -5	4-27
定期的に刊行される印刷物 -6	4-28

1

UIについて

UI とは何か

UI とは、ユニバーシティ・アイデンティティの略語です。大学のアイデンティティ、つまり大学独自の特徴や理念のことで、学内外にそれを認知させる活動を指します。少子化や情報化などを背景に、大学にも自らの個性を発信していくことが求められるようになり、UI の必要性はますます高まっています。

民間企業では、早くから他社との差別化が企業戦略の要として認識されており、コーポレート・アイデンティティ（CI）の活動を通して自社のアイデンティティを発信してきました。企業はCIを表明することで社会での役割や自身の個性を明確に印象づけ、社会における知名度やイメージを向上させ、それを基盤としてブランドを確立、成長させ、競合他社に対して優位性を確保してきました。

大学もこうしたCIの手法を取り入れ、アイデンティティを発信し、学内外のステークホルダーと積極的にコミュニケーションを図り、ブランド力を高めるUI活動の重要性が認識されました。大学の理念や文化は目に見えるものではありません。そこで統一したイメージのシンボルやロゴタイプ、カラー、書体など、目に見える要素であるビジュアル・アイデンティティ（VI）を活用することで、大学が発信する多種多様な情報を一貫したイメージの元に束ねて関連づけ、九州大学のメッセージであることを印象づけます。

UI と部局シンボル

自由な学問の場である大学組織の特徴の一つとして、学部や大学院、研究組織などがそれぞれ自負を持って、長年にわたり独立したアイデンティティを大切にしてきたことが挙げられます。九州大学の部局の多くも伝統的に独自のシンボルやロゴタイプを持ち、それにまつわる意味やストーリーを受け継いできました。

UI の観点からも、各部局が自立的に学問を探究する自由な文化は大学が誇りとするアイデンティティとしてアピールすべきです。九州大学の VI を整備するに当たっては、こうした大学ならではの特徴を尊重しつつ、いかにして大学全体として統一的なイメージを作り出すかが一つの焦点となりました。そこで、九州大学のオリジナルのロゴタイプを統一して使用することで九州大学全体のイメージを打ち出し、シンボルの使い方には柔軟性を持たせるルールとしました。具体的なルールと運用方法については「シンボルロゴと部局等名称との組み合わせ」(3-8) で説明しています。

VI の考え方

UI 活動における学内外への情報発信にビジュアル・アイデンティティ (VI) が役立つことを説明しましたが、これを踏まえて九州大学では特に次の方針にそって UI が策定されました。

- 九州大学の歴史を映し、かつ現代的なイメージを持つ。
- ビジュアル・アイデンティティの要素としてのシンボル、ロゴタイプ、カラー、書体が互いに調和し、かつそれぞれ単独でも九州大学のアイデンティティを表現する。
- 学内の各部局の個性と伝統を生かしつつ、大学としての一貫したアイデンティティをアピールする。

2

UI の基本要素

シンボル

松を図案化した九州大学のシンボルの歴史は1949年にさかのぼります。同年、学生パッチの図案公募が行われ、70人の学生から153点の応募がありました。図案審査にあたっては、学校側、学生側同数の委員からなる審査会を開いて検討し、当時農学部農業土木学科3年だった宗好秀氏の案が採択されました。こうして、1950年2月10日から使用されることになりました。応募作品の題材は、松を図案化したものが多かったのですが、これは当時大学周辺、病院地区から箱崎地区まで一面に松原が広がっていたことに基づいています。

現在のデザインは、この伝統的なシンボルをより使いやすく、より現代にマッチしたかたちにリデザインし、2004年に商標登録を行い、正式シンボルとして使用しています。



ロゴタイプ

ロゴタイプには、和文と英文があります。和文は、シンボルの形状にあわせてオリジナルの書体をデザインしました。英文のロゴは和文とイメージに近いSwiftという書体（デザイン：Gerard Unger）を用いています。九州大学のシンボルと組み合わせる場合は、相互の調和を保つために常にこのロゴタイプを用います。

九州大学

KYUSHU UNIVERSITY

UI カラー「九大ワインレッド」

色は全体の印象をつくり出すとともに、直感的に認識され、また記憶に残りやすいため、特徴を強調したり、他と区別したりするときに有効です。

九州大学を象徴する色を「九大ワインレッド」として定めています。シンボルを始め、レイアウトなどに、この UI カラーを効果的に使うことにより「九州大学らしさ」を強調することができます。



印刷指定色（特色）	DIC230
印刷基本 4 色掛け合わせ	C35 ／ M100 ／ Y50 ／ K35
RGB	R 133 ／ G 2 ／ B62
Hex コード	#85023e
3M カラーシート	Nocs51-02
マンセル色表	10RP3/12

UI カラーのシンボルロゴへの適用

シンボルに UI カラーを用い、ロゴタイプに黒を用いる展開が基本となります。単色の場合には黒、UI カラー、その他の色彩を適用できます。

UI カラーと黒の 2 色を用いた基本配色



単色の展開



シンボルとロゴタイプの組み合わせ

シンボルとロゴタイプは、様々な目的、用途、条件に対応できるように、7種類の組み合わせを用意しています。組み合わせは、垂直方向と水平方向の組み合わせの2種類のタイプに大別されます。

1. 垂直方向の組み合わせ

垂直方向の組み合わせでは、和文、英文のロゴタイプの組み合わせの違いで、3種類あります。

A シンボルと和文ロゴタイプ、
および英文ロゴタイプを天地方向に組み合わせたタイプ



B シンボルと和文ロゴタイプを
天地方向に組み合わせたタイプ



C シンボルと英文ロゴタイプを
天地方向に組み合わせたタイプ



2. 水平方向の組み合わせ

水平方向でのシンボルとロゴタイプの組み合わせでは、和文、英文のロゴタイプの組み合わせの違いで、4種類あります。英文のみのロゴタイプは、表示する空間の違いに応じて、一段組と二段組みのいずれかを選ぶことができます。

D シンボルと和文ロゴタイプ、英文ロゴタイプを
水平方向に組み合わせたタイプ



E シンボルと和文ロゴタイプを
水平方向に組み合わせたタイプ



F シンボルと英文ロゴタイプを
水平方向に一段で組み合わせたタイプ



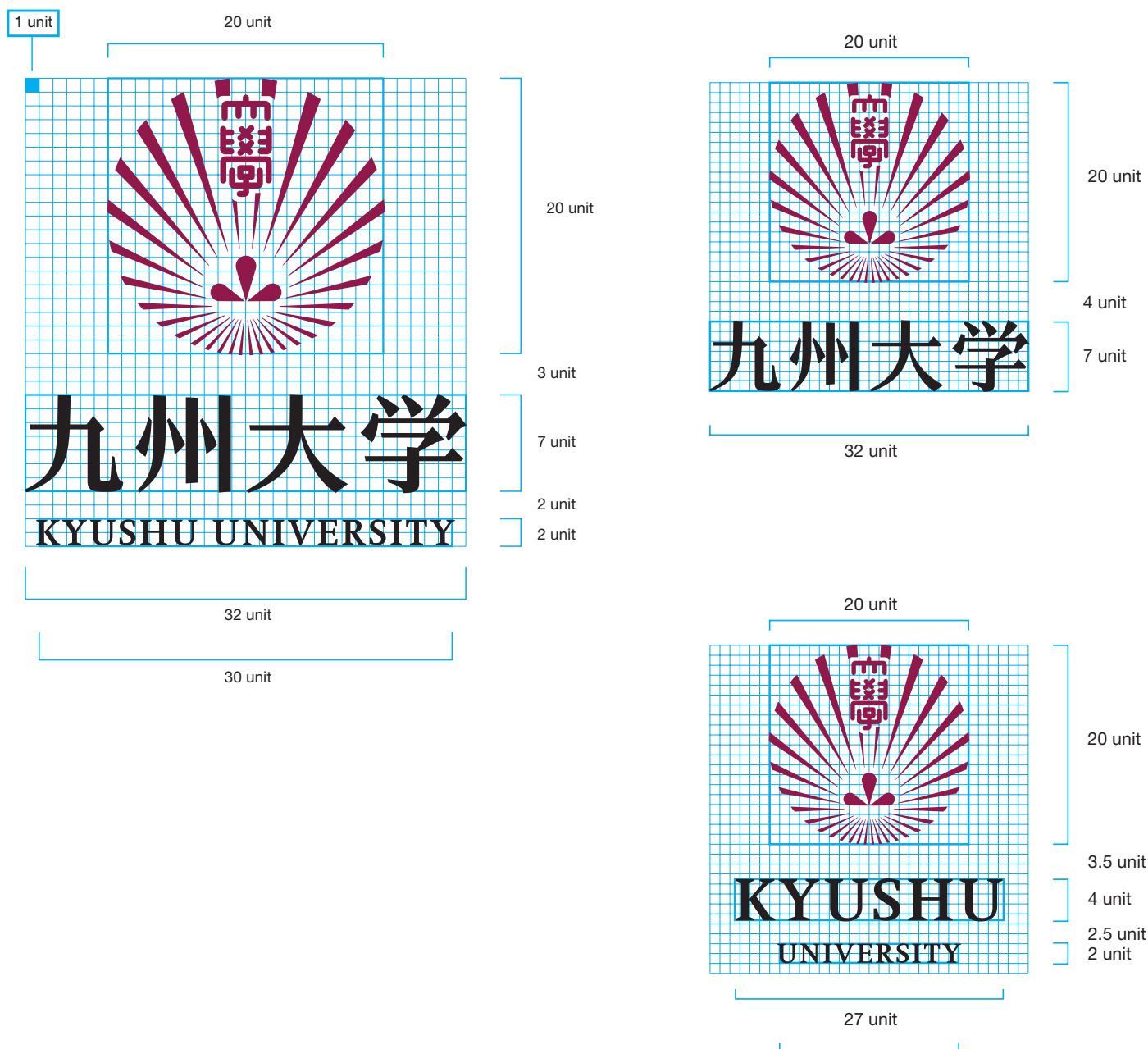
G シンボルと英文ロゴタイプを
水平方向に二段に組み合わせたタイプ



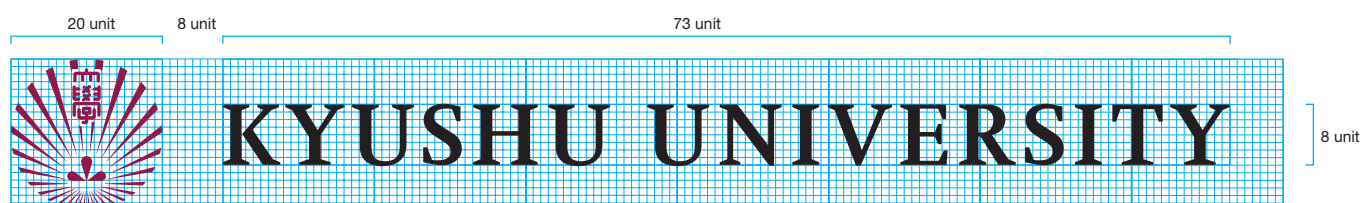
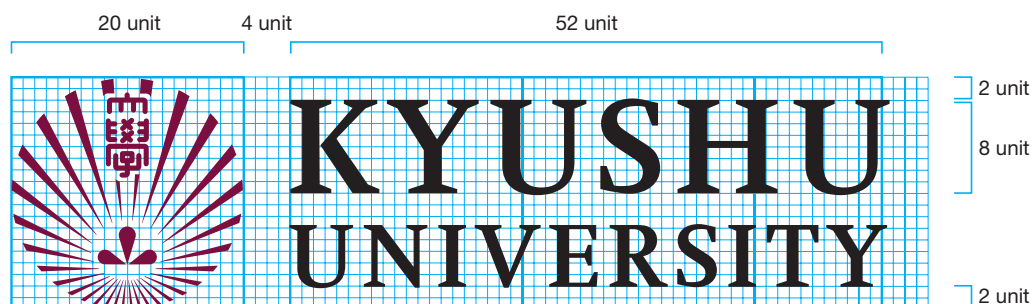
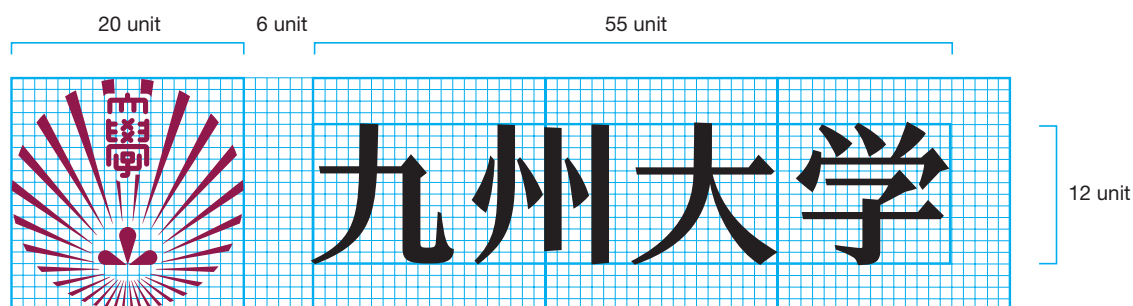
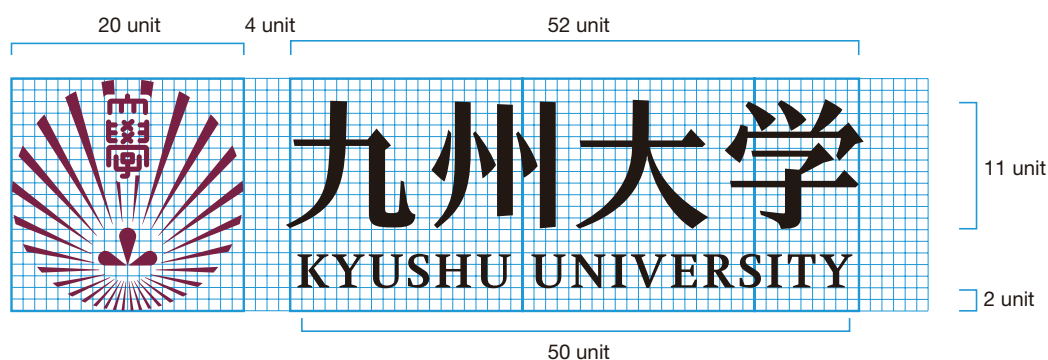
シンボルロゴの割り出し図

シンボルの直径の 1/20 を 1 ユニットとします。このユニットを基本単位としてロゴタイプのサイズ、シンボルとロゴタイプの間の空間を算出しています。

たとえば、右図の組み合わせタイプの場合は、和文の最大文字幅は 32 ユニットとなります。ちなみに、シンボルの 20 ユニットとこの値の比率は 5 対 8 となり、ほぼ黄金分割の割合に近い比率です。



シンボルとロゴタイプ間の空間は、組み合わせによって異なります。たとえば、和文ロゴタイプとシンボル、英文ロゴタイプとシンボルの組み合わせでは、シンボルとロゴタイプの幅が狭いです。これは、シンボル・ロゴの組み合わせにさらに他の部局等の名称や住所などの要素を組み合わせる場合に、配置しやすいように配慮したことによります。



組み合わせの基本的類型と用法のまとめ

A, D

- もっともフォーマルなタイプ
- どの用途でも使用できる
- 左右センターの配置が適切
- 部局などの名称とは切り離して使用



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

B

- ややフォーマルなタイプ
- 主に和文ドキュメントで使用
- 左右センターの配置が適切
- 部局などの名称とは切り離して使用



C

- ややフォーマルなタイプ
- 主に英文ドキュメントで使用
- 左右センターの配置が適切
- 部局などの名称とは切り離して使用



E

- 汎用タイプ
- 主に和文ドキュメントで使用
- 左右に寄せた配置が適切
- 部局などの名称と組み合わせて使用できる



九州大学

F, G

- 汎用タイプ
- 主に英文ドキュメントで使用
- 左右に寄せた配置が適切
- 部局などの名称と組み合わせて使用できる
- 二段組と一段組は、表示する空間の性質に応じて使い分ける。



KYUSHU
UNIVERSITY



KYUSHU UNIVERSITY

フォント

部局等の名称や、住所連絡先など、シンボルロゴに合わせて使用する場合、ゴシック体を指定します。

ゴシック体のなかでも、1) FOT-UD 角ゴ (スモール M)、2) 新ゴ (R) 3) 小塚ゴシックなどが推奨されます。英文については、メイリヤード (Myriad Pro) が推奨されます。

Myriad Pro Semi bold

We continue to work toward an improved standing in world university rankings in order to be counted among the world's top 100 universities.

Myriad Pro Regular

We continue to work toward an improved standing in world university rankings in order to be counted among the world's top 100 universities.

シンボルロゴとの組み合わせ



九州大学 教育学部

K-UD 角ゴ_スモール_M



九州大学 教育学部

新ゴ R



九州大学 教育学部

小塚ゴシック M



KYUSHU UNIVERSITY School of Education



KYUSHU UNIVERSITY School of Engineering

Myriad Pro regular



KYUSHU UNIVERSITY School of Education



KYUSHU UNIVERSITY School of Engineering

Myriad Pro regular

参考：K-UD フォント

学内限定で利用できるフォントとして「K-UD フォント」があります。K-UD フォントは、芸術工学研究院との共同研究をふまえてフォントワークス株式会社が開発した UD フォント (ユニバーサルデザインフォント) から選定された 9 書体の総称です。9 書体のなかで、「K-UD 角ゴ」はフォントワークス株式会社の「FOT-UD 角ゴ」に、「K-UD 丸ゴ」は「FOT-UD 丸ゴ」に、「K-UD 明朝」は「FOT-UD 明朝」にそれぞれ対応しています。

FOT-UD フォントについては、下記のサイトをご参照ください。

<https://fontworks.co.jp/solution/ud/report>

K-UD 角ゴ Small-B

2011 年に創立百周年を迎えた九州大学は、次の百年に向けて常に未来の課題にチャレンジする大学であり続けたいと思います。

K-UD 角ゴ Large-DB

2011 年に創立百周年を迎えた九州大学は、次の百年に向けて常に未来の課題にチャレンジする大学であり続けたいと思います。

K-UD 角ゴ Small-M

2011 年に創立百周年を迎えた九州大学は、次の百年に向けて常に未来の課題にチャレンジする大学であり続けたいと思います。

K-UD 角ゴ Small-R

2011 年に創立百周年を迎えた九州大学は、次の百年に向けて常に未来の課題にチャレンジする大学であり続けたいと思います。

K-UD 丸ゴ Small-B

2011 年に創立百周年を迎えた九州大学は、次の百年に向けて常に未来の課題にチャレンジする大学であり続けたいと思います。

K-UD 丸ゴ Large-DB

2011 年に創立百周年を迎えた九州大学は、次の百年に向けて常に未来の課題にチャレンジする大学であり続けたいと思います。

K-UD 明朝 B

2011 年に創立百周年を迎えた九州大学は、次の百年に向けて常に未来の課題にチャレンジする大学であり続けたいと思います。

K-UD 明朝 DB

2011 年に創立百周年を迎えた九州大学は、次の百年に向けて常に未来の課題にチャレンジする大学であり続けたいと思います。

K-UD 明朝 M

2011 年に創立百周年を迎えた九州大学は、次の百年に向けて常に未来の課題にチャレンジする大学であり続けたいと思います。

シンボルの単独使用も可能

シンボルは、公式の旗やバッジなど、特別な場合にロゴタイプと切り離して使用することができます。

ロゴタイプの代用は禁止

シンボルとロゴは、それぞれ九州大学のアイデンティティを表す役割を持っています。ロゴタイプは基本的には他の既成のフォントでは代用はできません。シンボルとロゴタイプ、書体の推奨される組み合わせについては基本要素の使用の項目で説明します。



九州大学

その他の禁止事項例

●ロゴタイプの縦横比の変形はできません。



九州大学

●シンボルと一緒にオリジナルのロゴタイプ以外の類似のフォントを使ったロゴタイプの使用はできません



九州大学

●シンボル及びロゴタイプに「九州大学」以外の文字を加えての使用はできません。組み合わせについては、3-5 を参照してください。



九州大学〇〇研究所

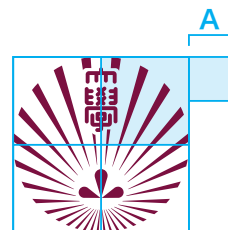
3

基本要素の使用

アイソレーション

空間が限られているなどの制約のある例外を除き、シンボルロゴは、余裕のある空間に配置するとより効果的です。シンボルロゴの配置にあたっては、シンボルロゴへの他の要素の干渉を防ぐため周囲のグラフィック要素、紙面の端との間に最小限確保すべき余白を規定しています。

このようにシンボルロゴを独立させて配置することを「アイソレーション」と言います。アイソレーションのルールとして、右図のようにシンボルの直径の4分の1を最小限必要な余白 (A) として算出しています。利便性のために、最小限確保すべき周囲の空間を含んだシンボルロゴのデータを提供しています。このデータを画像や文字などを重ねずに使用すれば、正しく配置されます。ただし、部局などの名称と組み合わせる場合には、この規定は適用されません。



シンボルロゴのサイズ

シンボルロゴをあまり小さく用いると、見づらくなってしまいます。そこで、小サイズ用のシンボルを別に用意し、以下のように定めたルールによってシンボルロゴを使い分けます。

標準シンボル



小サイズ用シンボル



サイズを小さくしても可視性を保てるように、特別に「大学」の文字の線を細くデザインしています。

「小サイズ」の規定

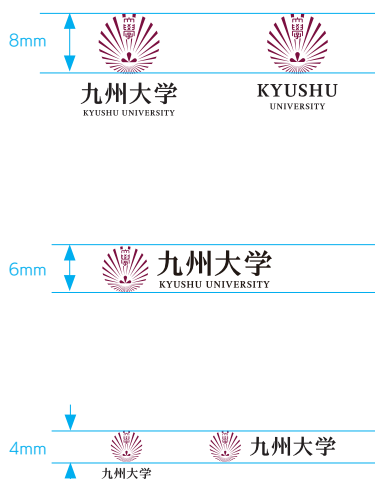
シンボルの直径が 10mm 以下の場合、小サイズ用シンボルで構成されたシンボルロゴ（小）を使います。



最小サイズ

シンボルの「大学」の文字の可読性、および英文の可読性を考慮して、標準的な印刷を想定した場合のシンボルロゴの最小使用サイズを、シンボルとロゴタイプの組み合わせタイプ別に右図のように定めています。

DTP プリンタでの出力、インターネットの Web サイトなど解像度の低い使用環境では、適宜可視性、可読性を個別に考慮する必要があります。



シンボルロゴと背景

シンボルロゴを写真や模様や色のついた背景の上に配置するときは、なるべく薄い色で無地に近いところに来るようにします。以下に例をいくつか紹介します。

シンボルロゴの背景色は、シンボルロゴのカラーに影響を与えないカラーを選びます。右の事例は無彩色です。



背景色がUIカラーの場合や、濃い色彩の場合は、白抜きが適切です。



パターンの入った背景にシンボルロゴを配置するときには、なるべく無地に近いスペースを使用します。また下地のパターンのコントラストを下げるなどの工夫も有効です。



写真の上にシンボルロゴを置くときは、無地に近いスペースがちょうどシンボルロゴの背景になるようにレイアウトします。また、シンボルロゴの背景にあたる部分のコントラストを下げるなどの工夫も有効です。濃い色調の写真の場合、シンボルロゴは単色が適切です。



シンボルロゴと部局等名称との組み合わせ

シンボルロゴと部局等の組織名称との組み合わせには、シンボルと和文ロゴタイプを水平方向に組み合わせたタイプ（Eタイプ）を基本として用います。縦の組み合わせと横方向の組み合わせが標準ですが、Eタイプの規定とは異なるプロポーシジョンの組み合わせも可能です。

これらの具体的な組み合わせの事例については、3-6 から 3-9 までを参照してください。

Eタイプの
シンボルロゴ



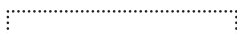
九州大学

独自のシンボルを用い
る場合

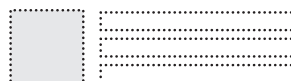
縦の
組み合わせ



九州大学



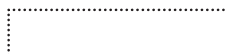
九州大学



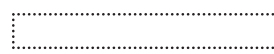
横の
組み合わせ



九州大学



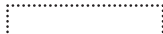
九州大学



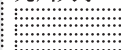
その他の
組み合わせ



九州大学



九州大学



シンボルロゴと部局等名称との組み合わせ

[標準仕様]

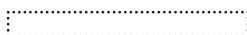
シンボルロゴの標準タイプの組み合わせ（Eタイプ）以外の組み合わせも、必要に応じて可能です。この場合でも、「九州大学」のロゴを用いることとし、ロゴと組織名称を組み合わせ、その先頭にシンボルを配置します。

これらの組み合わせについては、テンプレートを用意していますので、それを入手して参考にしてください。

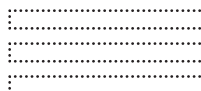
■縦に表記する場合の組織名等の位置



九州大学



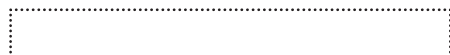
九州大学



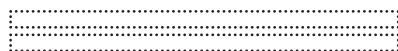
■横に表記する場合の組織名等の位置



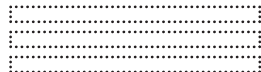
九州大学



九州大学



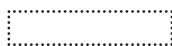
九州大学



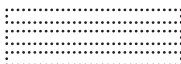
■その他



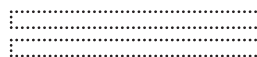
九州大学



九州大学



九州大学



事例



九州大学

教育学部



九州大学

大学院農学研究院
大学院生物資源環境学府
農学部



九州大学 教育学部



九州大学

大学院人文科学研究院 | 大学院人文科学府
文学部



九州大学 法科大学院



九州大学

大学院人文科学研究院
大学院人文科学府
文学部



九州大学 大学院人文科学研究院 | 大学院人文科学府 | 文学部



九州大学
教育学部



九州大学
大学院農学研究院
大学院生物資源環境学府
農学部



九州大学
法科大学院



九州大学
大学院農学研究院
大学院生物資源環境学府

シンボルロゴと部局等名称との組み合わせ

[独自のシンボルを用いる場合]

部局等によっては、独自のシンボルを制定している場合があります。そうした場合には、九州大学のシンボルの代わりに部局などのシンボルを用いることができますが、九州大学のロゴタイプを用いることで、九州大学のアイデンティティを確保してください。

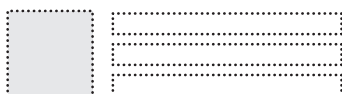
基本は、左右方向の組み合わせ（Eタイプ）の規則に従います。

横に表記する場合は、組織等のシンボルは組織名の頭につけます。また九州大学のロゴと組織等名の組み合わせの先頭にシンボルを配置する場合も可能です。

これらの組み合わせについては、テンプレートを用意していますので、それを入手して参考にしてください。

■縦に表記する場合の事例

九州大学

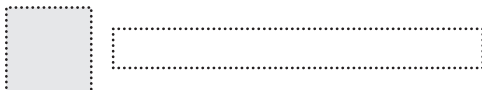


■横に表記する場合の事例

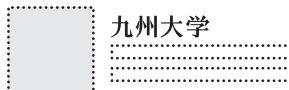
九州大学



九州大学



■その他



事例

九州大学



大学院医学研究院
大学院医学系学府
医学部

九州大学



大学院総合理工学研究院
大学院総合理工学府

九州大学



大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府
芸術工学部

九州大学



大学院医学研究院 | 大学院医学系学府
医学部

九州大学



大学院総合理工学研究院
大学院総合理工学府

九州大学



大学院芸術工学研究院 | 大学院芸術工学府
芸術工学部

九州大学



大学院芸術工学研究院 | 大学院芸術工学府 | 芸術工学部



九州大学
大学院医学研究院
大学院医学系学府
医学部



九州大学
大学院総合理工学研究院
大学院総合理工学府



九州大学
大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府
芸術工学部

Web サイトにおける留意点

Web サイトは、印刷物など異なる条件で表示されることから、留意すべき点があります。Web サイトにおいてもシンボルロゴの表示には（特に TOP ページにおいては）、タイトル表示同様の視認性と誘目性が求められます。そのため、コンテンツ全体に対する面積比（コンテンツ横幅を基準とする）や色の対比などを考慮して、シンボルロゴの表示サイズおよび補助色を決定する必要があります。近年では、TOP ページをスクロールダウンした時や TOP 以下のページにおいては、閲覧者がよりコンテンツに集中できるように、シンボルロゴ表示を縮小または簡易化するなどの工夫を施すサイトも増えてきています。

■コンテンツ横幅（推奨）

2018 年現在で、普及している PC モニタの解像度は「1920px × 1080px」と「1366px × 768px」になっているため、その中で小さめの「1366px × 768px」を基準とします。また、スマートフォンも同様の考えで、横幅 375px × 2 倍（デバイスピクセル比）＝ 750px 基準と考えます。これらに基づくコンテンツ最大横幅の推奨サイズは、PC で 1000px 程度、スマートフォンで 750px 程度となり、九州大学もこれに準じています。

[補足]

余白を除いた実質の情報掲載枠は、次の通りになります。

○ 1 カラム構成の場合

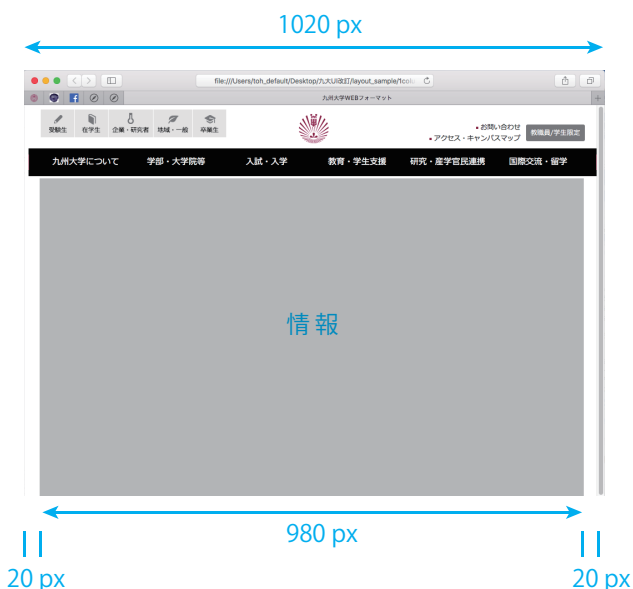
情報掲載枠 980px

○ 2 カラム構成（サイドメニュー有り）の場合

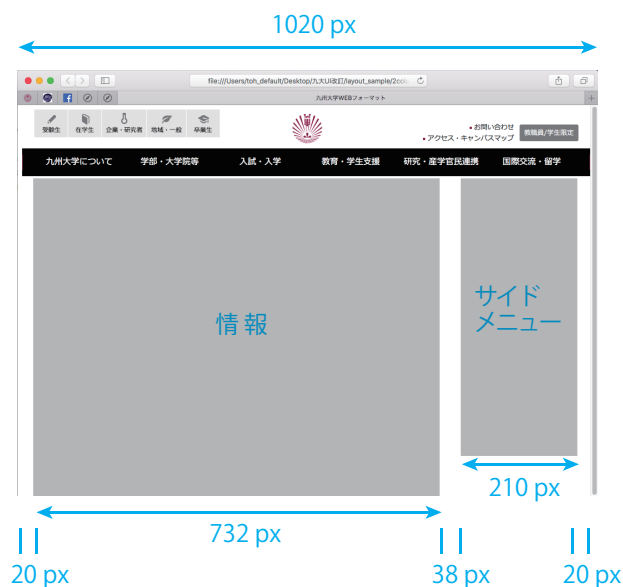
サイドメニュー枠 210px

情報掲載枠 732px

■ 1 カラムの画面構成



■ 2 カラムの画面構成



■タイトル表示におけるシンボルロゴのサイズ

シンボルロゴ組み合わせ A タイプの場合

高さ 120px



シンボルマークのみ、またはシンボルロゴ
組み合わせ D,E,F,G タイプの場合

高さ 50px



スクロール時

■アイソレーション

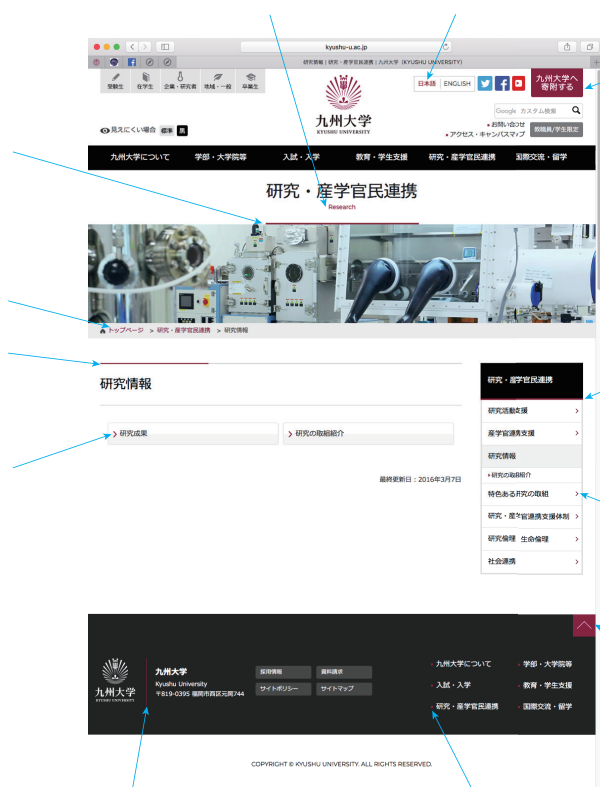
3-2 に規定されている基本の設定に準じます。指定された比率を用い、px（ピクセル）単位で算出し、画像の余白として、または、CSS マージンの設定として指定することを推奨します。

■UI カラー

2-4 に定められた UI カラーをモニタ上で再現する際に適切と判断された色の Web カラーコードです。九州大学 Web サイトでは、UI カラーを前面に出すのではなく、ポイント色として用いています。

Hex コード：#85023e

RGB コード：rgb(133,2,62)



九州大学 Web サイトでは
UI カラーをポイント色として使用

4

アプリケーション編

(改訂予定)

封筒、レターヘッド、名刺

以下のシステムで組織名称との組み合わせを規定します。また、封筒、レターヘッドは和英併記、英文のみの場合について規定しています。

カテゴリー

基本的用法（和英併記の場合、事例：長 3 封筒）

■カテゴリー 1

大学本部

九州大学シンボルロゴと住所を組み合わせる。

英文にはロゴを使用する。



■カテゴリー 2

部局（研究院、学府、学部）

カテゴリー 2a

固有のシンボルを持たない場合

九州大学シンボルロゴと研究院、学府、学部の組織名称とを組み合わせる。

英文にはロゴを用いない。

研究院、学府、学部の 3 つの組織名称を組み合わせた場合、大学院のみの組織名称の場合など、組織名称の数によって、文字の大きさを調整する必要がある。



カテゴリー 2b

固有のシンボルを持つ場合

九州大学のロゴタイプと研究院、学府、学部の組織名称とを組み合わせる。

九州大学のシンボルは用いず、部局のシンボルを用いる。

英文にはロゴを用いない。

研究院、学府、学部の 3 つの組織名称を組み合わせた場合、大学院のみの組織名称の場合など、組織名称の数によって、文字の大きさを調整する必要がある。



封筒 -1

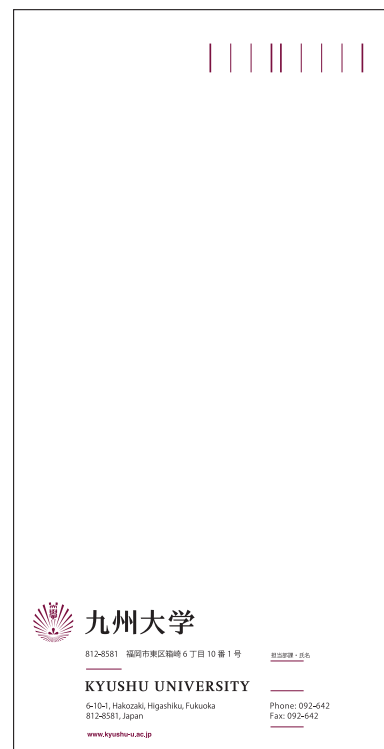
カテゴリー 1

大学本部の事例

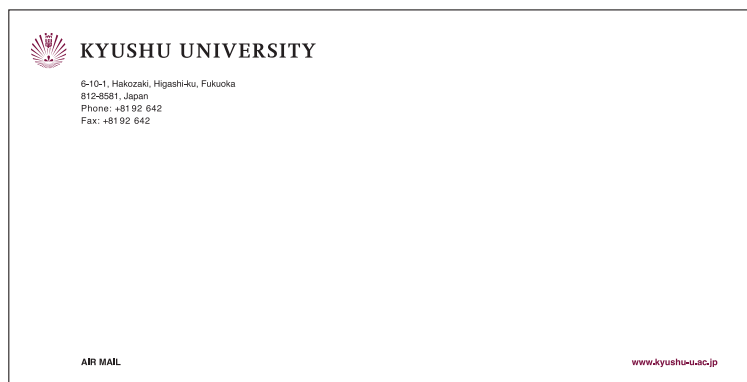
角 2 封筒



長 3 封筒



英文封筒



封筒 -2

カテゴリー 2a

シンボルを持たない部局：研究院、学府、学部 の 3 つの組織名称を記載する場合の事例

角 2 封筒





九州大学

大学院人文科学研究院
大学院人文科学府
文学部

担当部課・氏名

812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
Phone: 092-642-2773
Fax: 092-642-2778

www.it.kyushu-u.ac.jp

Faculty of Humanities
Graduate School of Humanities
School of Humanities
Kyushu University

6-10-1, Hakozaki, Higashiku, Fukuoka, 812-8581, Japan
Phone: +81 92 642 2773
Fax: +81 92-6422778

長 3 封筒





九州大学

大学院人文科学研究院
大学院人文科学府
文学部

812-8581 福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
Phone: 092-642
Fax: 092-642
www.it.kyushu-u.ac.jp

Faculty of Humanities
Graduate School of Humanities
School of Humanities
Kyushu University

Hakozaki 6-10-1, Higashiku, Fukuoka
812-8581, Japan
Phone: +81 92 642
Fax: +81 92 642

英文封筒



KYUSHU UNIVERSITY

Faculty of Humanities
Graduate School of Humanities
School of Humanities

6-10-1, Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka, 812-8581 Japan
Phone: 092-642
Fax: 092-642

Faculty of Humanities
Graduate School of Humanities
School of Humanities
Kyushu University

6-10-1, Hakozaki, Higashiku, Fukuoka, 812-8581, Japan
Phone: +81 92 642 2773
Fax: +81 92-6422778

AIR MAIL

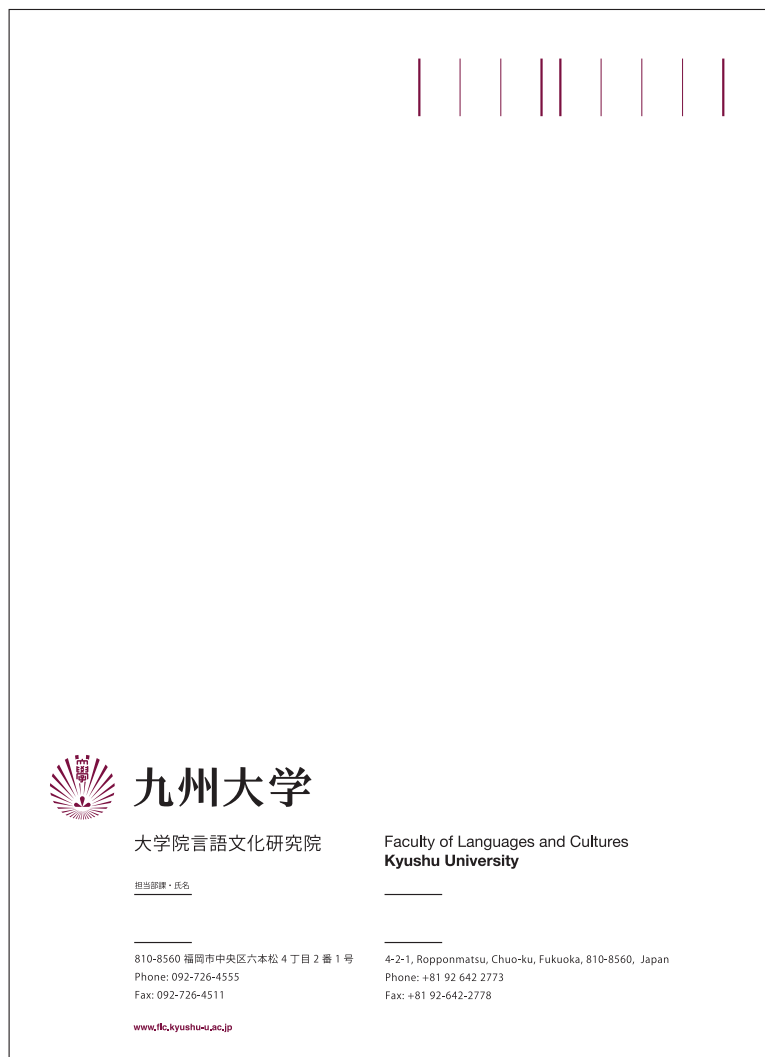
www.it.kyushu-u.ac.jp

封筒 -3

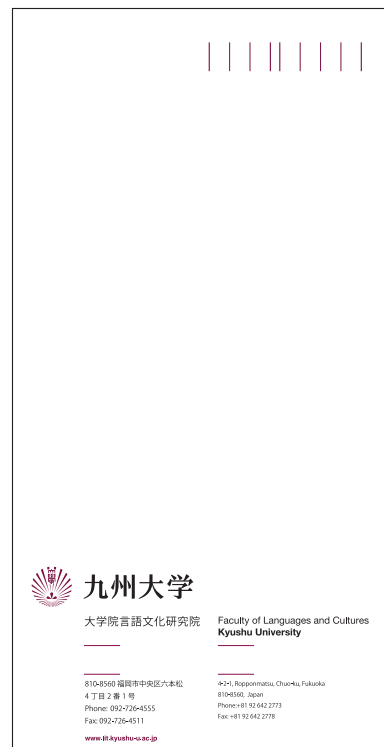
カテゴリー 2a

シンボルを持たない部局：組織名称を 1 つだけ記載する場合の事例

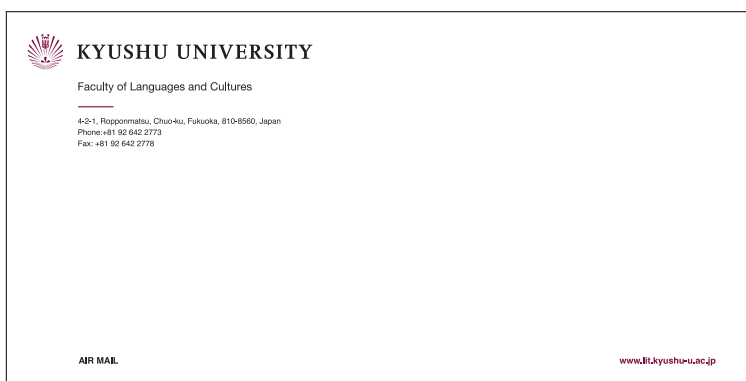
角 2 封筒



長 3 封筒



英文封筒

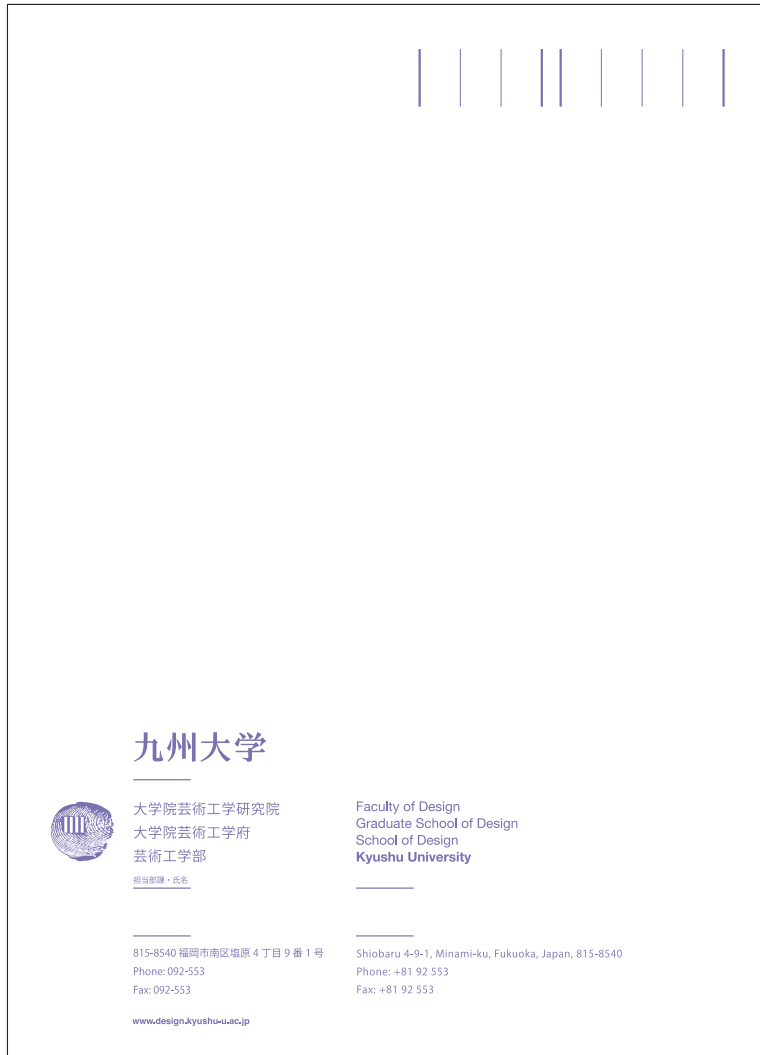


封筒 -4

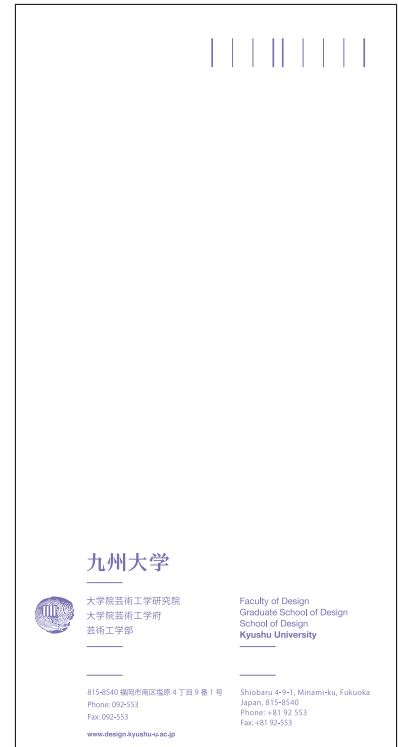
カテゴリー 2b

固有のシンボルを持っている部局：研究院、学府、学部 の 3 つの組織名称を記載する場合の事例

角 2 封筒



長 3 封筒



英文封筒

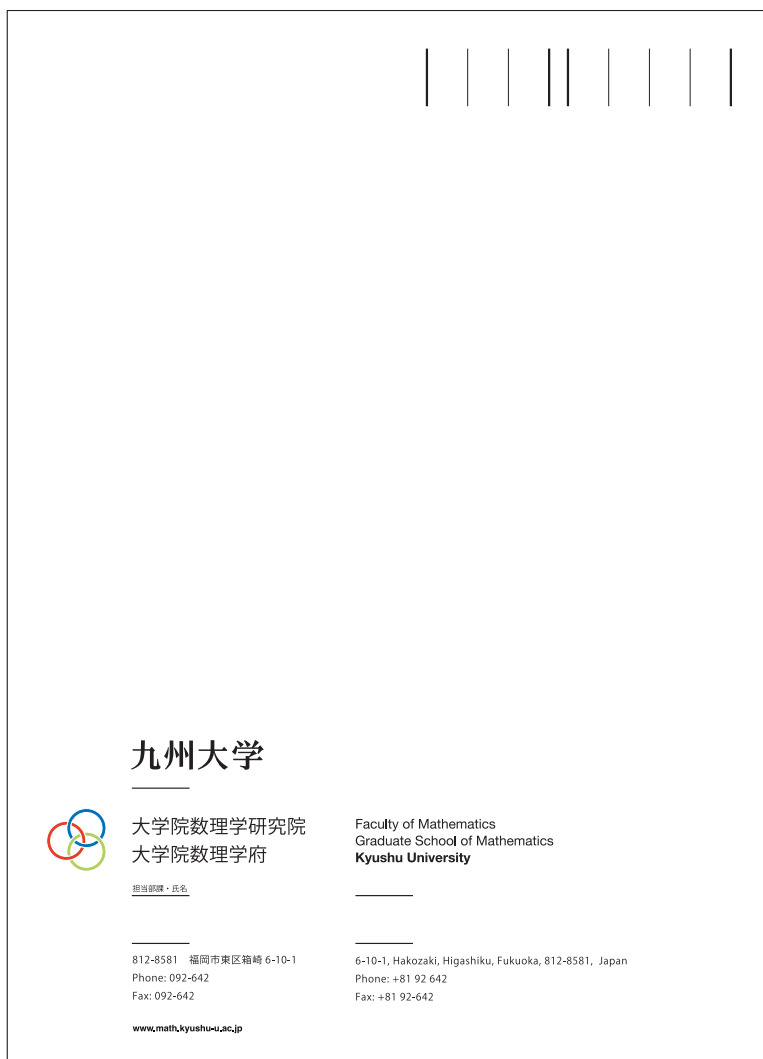


封筒 -5

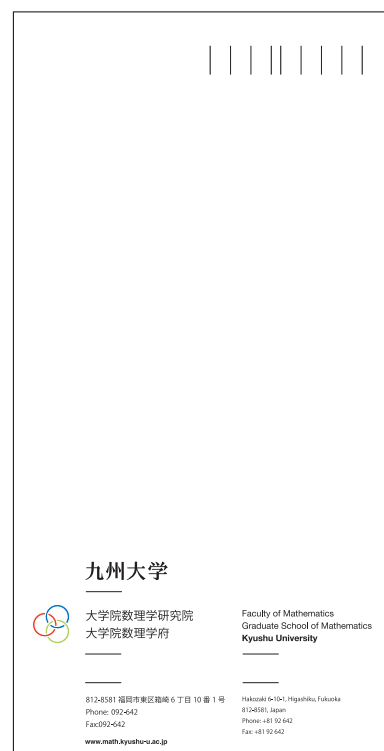
カテゴリー 2b

固有のシンボルを持っている部局：2つの組織名称を記載する場合の事例

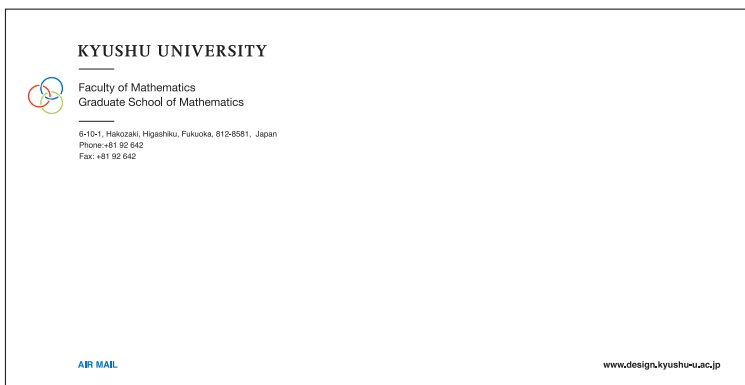
角2封筒



長3封筒



英文封筒



封筒 -6

■カテゴリー 1

角 2 封筒割り出し図（下図は実寸の 60% に縮小）

※表記○ pt/ △ pt は、○ポイントサイズ、行送り△ポイントを指す。

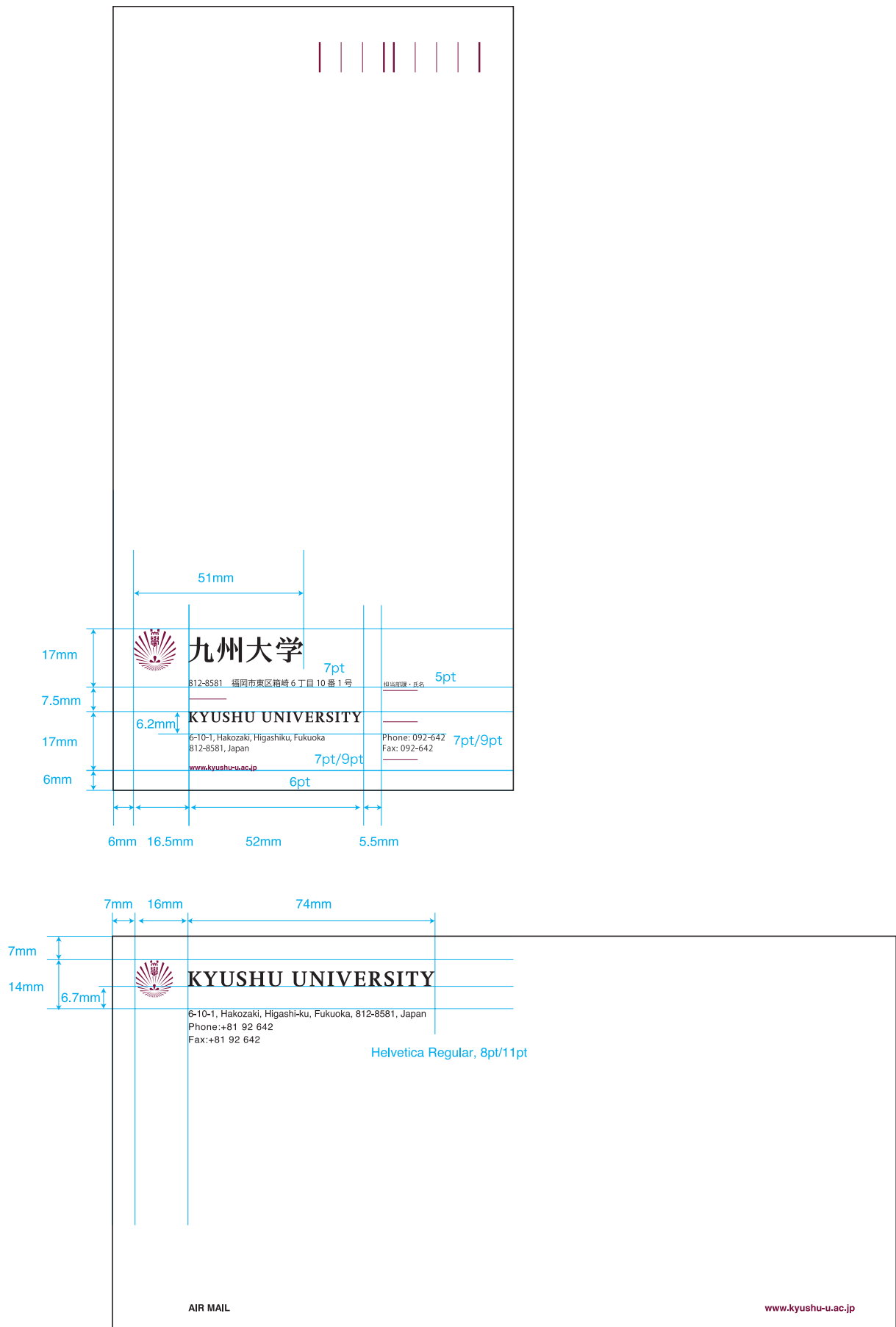
例：9pt/11pt：文字サイズ9ポイント、行送り11ポイント、（以下同様）



封筒 -7

■カテゴリー 1

長3封筒および英文封筒割り出し図（下図は実寸の60%に縮小）

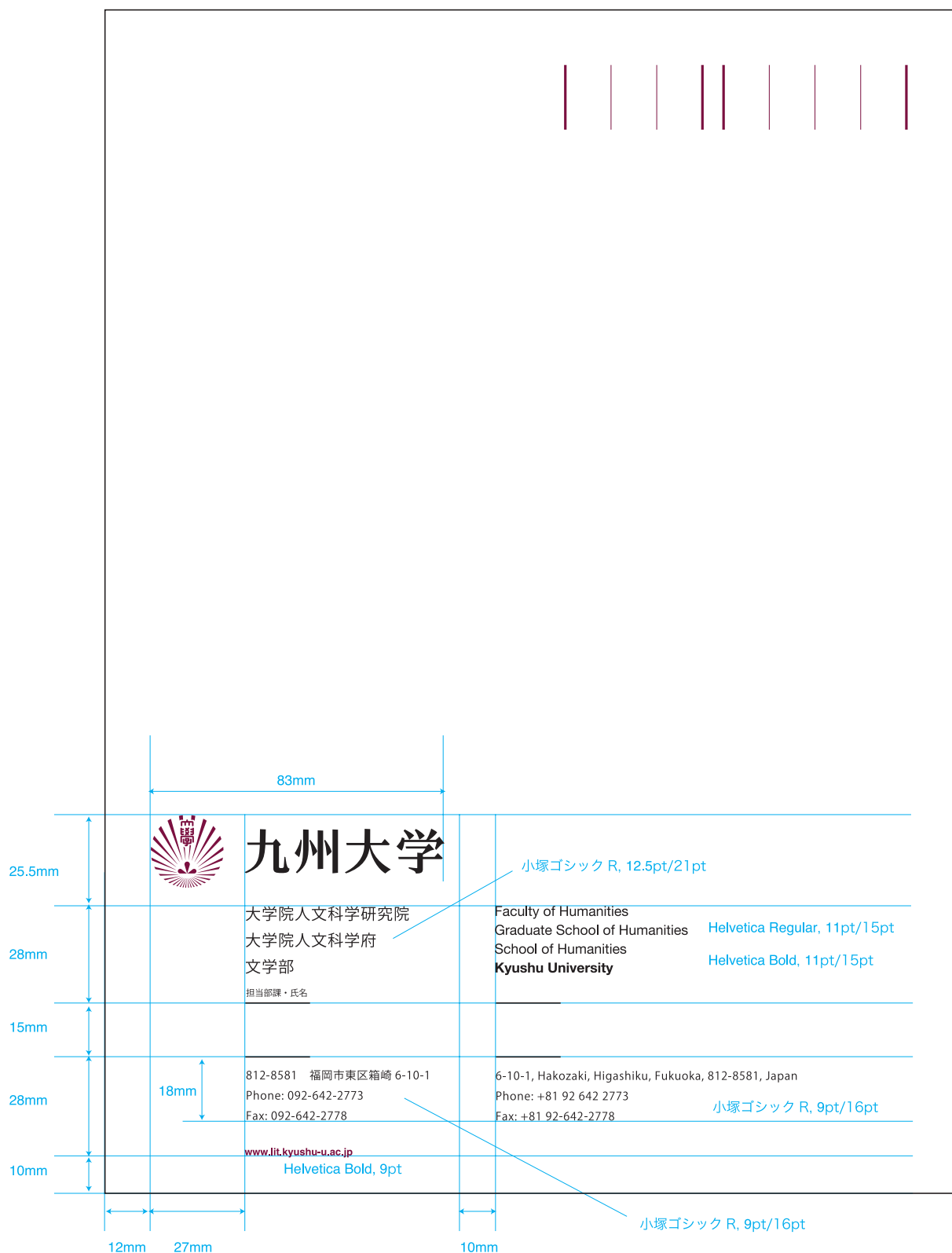


封筒 -8

■カテゴリー 2a

シンボルを持たない部局：研究院、学府、学部 of 3 の組織名称を記載する場合の事例

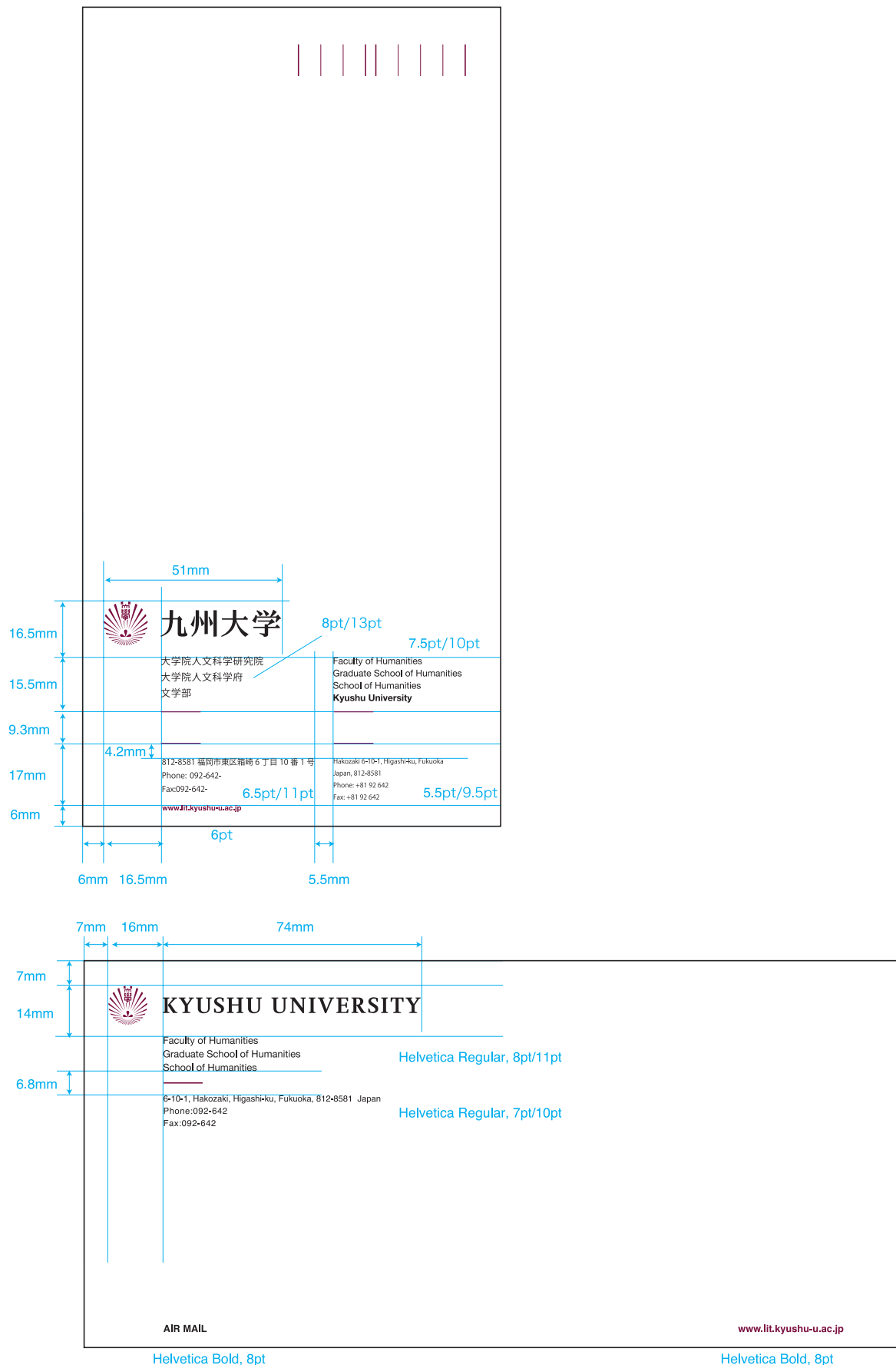
角 2 封筒割り出し図（下図は実寸の 60% に縮小）



封筒 -9

■カテゴリー 2a

シンボルを持たない部局：研究院、学府、学部 の 3 つの組織名称を記載する場合の事例
長 3 封筒、英文封筒割り出し図（下図は実寸の 60% に縮小）

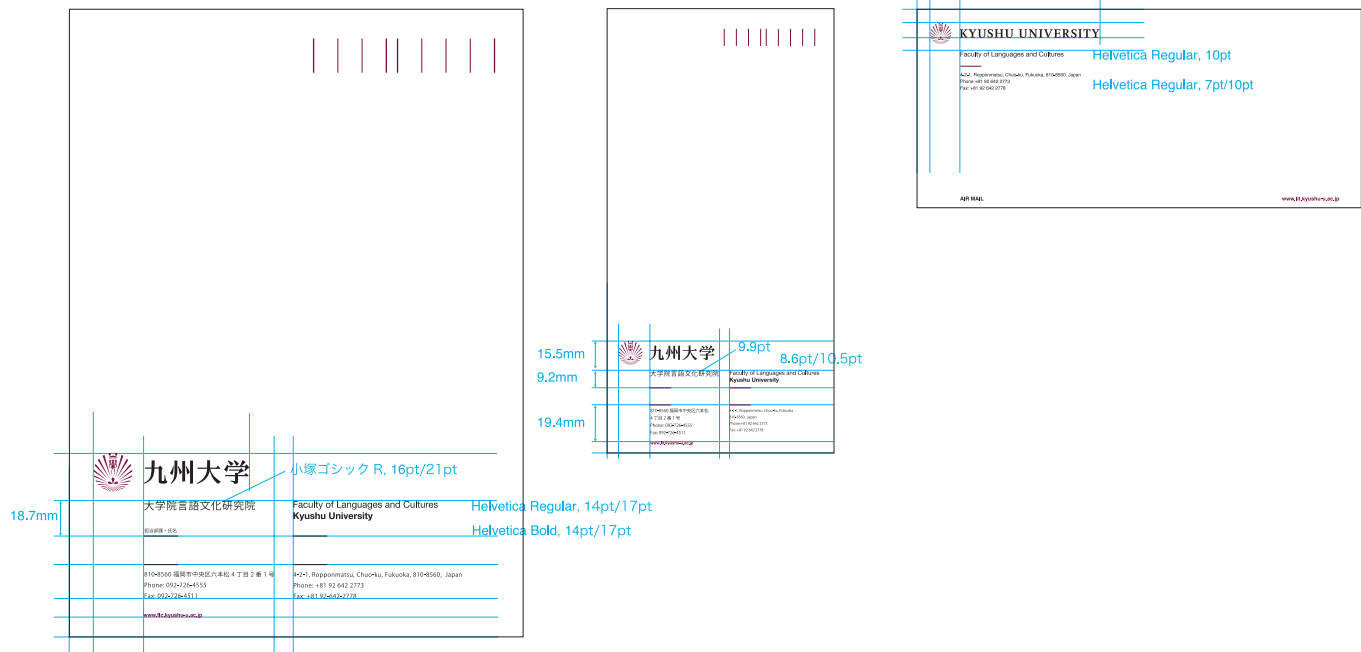


封筒 -10

■カテゴリー 2a

シンボルを持たない部局：1つの組織名称を記載する場合の事例

※封筒8～封筒-9と同一指定の数値は省略

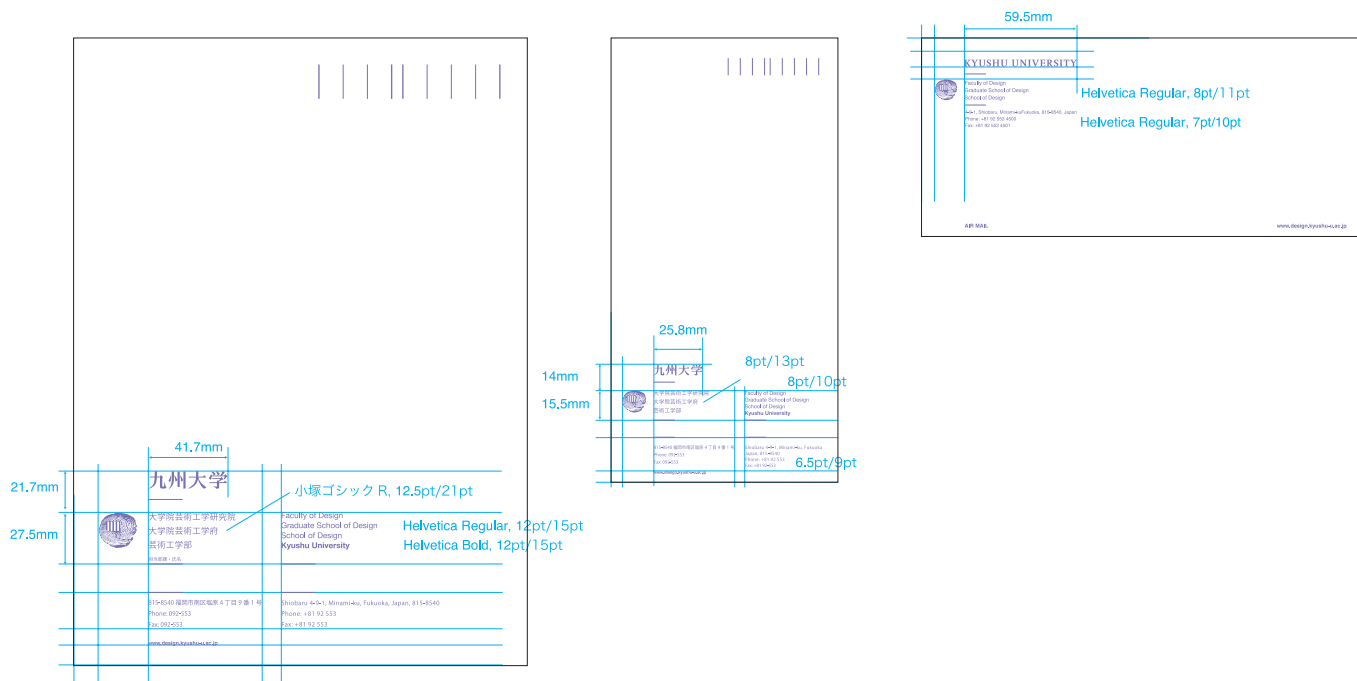


封筒 - 11

■カテゴリー 2b

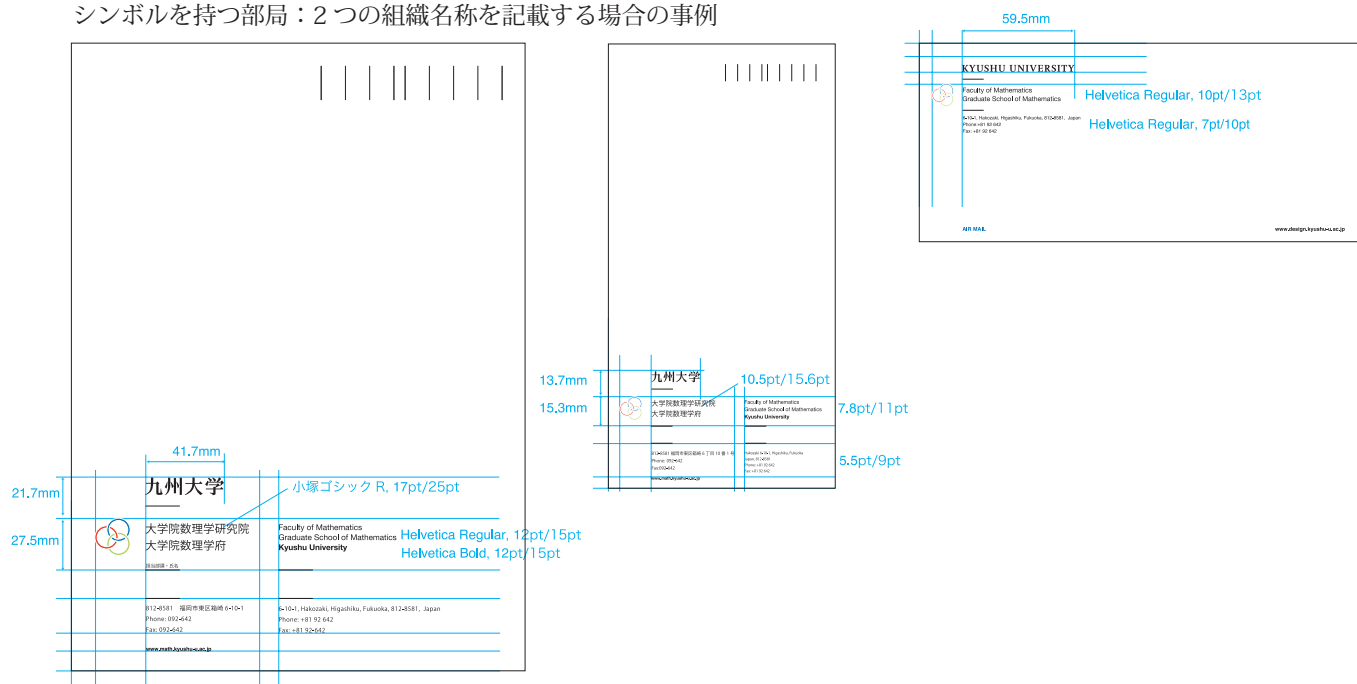
シンボルを持つ部局：研究院、学府、学部 of 3つの組織名称を記載する場合の事例

※封筒 8 ～ 封筒 - 9 と同一指定の数値は省略



■カテゴリー 2b

シンボルを持つ部局：2つの組織名称を記載する場合の事例



レターヘッド -1

レターヘッドは、A4 サイズで、和文と英文併記のタイプと、英文のみのタイプを示しています。シンボルと組織名称の組み合わせの基本的なルールは、封筒の表記に準じています。

■カテゴリ 1：大学本部の事例（和文＋英文、英文のみ）

■英文



KYUSHU UNIVERSITY

6-10-1, Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka 812-8581, Japan
Phone: +81 92 642 2773
Fax: +81 92 642 2778

■和文＋英文



九州大学

812-8581 福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
Phone: 092-642-2773
Fax: 092-642-2778

KYUSHU UNIVERSITY

6-10-1, Hakozaki, Higashiku, Fukuoka-city, 812-8581, Japan
Phone: +81 92 642 2773
Fax: +81 92-642-2778

レターヘッド -2

■カテゴリー 2a：独自のシンボルを持たない部局の事例

■英文



KYUSHU UNIVERSITY

Faculty of Humanities
Graduate School of Humanities
School of Humanities

6-10-1, Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka, 812-8581 Japan
Phone:092-642-1234, Fax:092-642-5678

■和文+英文



九州大学

大学院人文科学研究院
大学院人文科学府
文学部

812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
Phone:092-642-2773
Fax: 092-642-2778

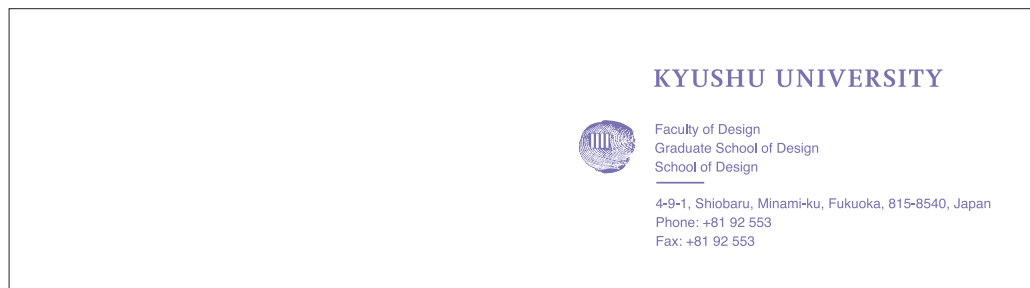
Faculty of Humanities
Graduate School of Humanities
School of Humanities
Kyushu University

6-10-1, Hakozaki, Higashiku, Fukuoka-city, 812-8581, Japan
Phone: +81 92 642 2773
Fax: +81 92-642-2778

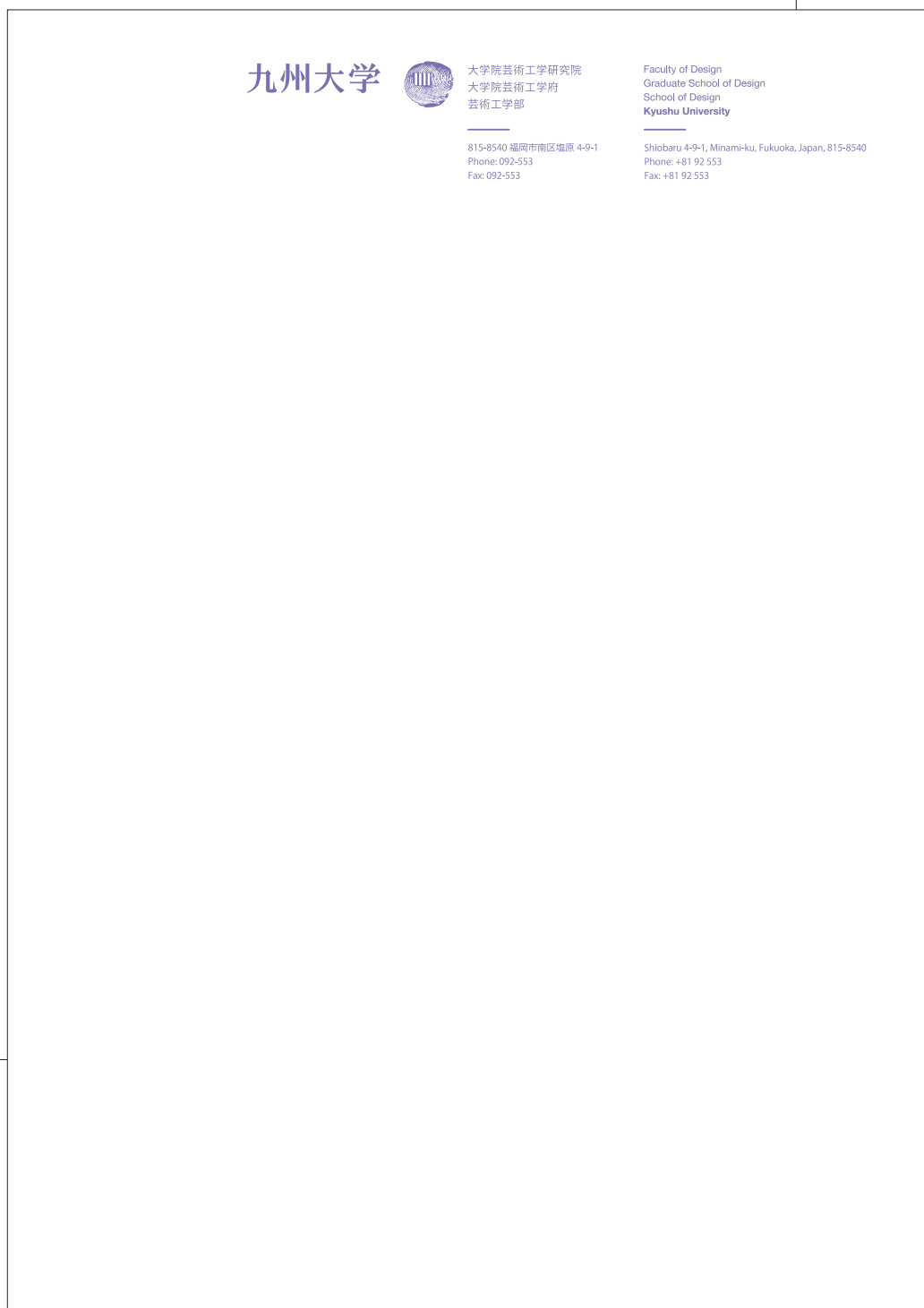
レターヘッド -3

■カテゴリー 2b:独自のシンボルを持つ部局の事例（和文+英文、英文のみ）

■英文



■和文+英文



レターヘッド -4

■割り付け指定

			14pt (5mm)	156pt (55mm)	29pt (10mm)	
				126pt (44,5mm)		35pt (12,5mm)
					九州大学	42pt (15mm)
				812-8581 福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号 Phone:092-642-2773 Fax: 092-642-2778		36pt (13mm)
			小塚ゴシック 6pt/9pt	KYUSHU UNIVERSITY		18,5pt (6,5mm)
			小塚ゴシック 6pt/9pt	6-10-1, Hakozaki, Higashiku, Fukuoka-city, 812-8581, Japan Phone: +81 92 642 2773 Fax: +81 92-642-2778		
				126pt (44,5mm)	98,5pt (34,5mm)	
					九州大学	35pt (12,5mm)
			小塚ゴシック 7pt/11pt	Helvetica 6,5pt/9pt		42pt (15mm)
			大学院人文科学研究所 大学院人文科学府 文学部	Faculty of Humanities Graduate School of Humanities School of Humanities Kyushu University		9,5pt (3,3mm)
			812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 Phone:092-642-2773 Fax: 092-642-2778	6-10-1, Hakozaki, Higashiku, Fukuoka-city, 812-8581, Japan Phone: +81 92 642 2773 Fax: +81 92-642-2778		
			小塚ゴシック 6pt/9pt	小塚ゴシック 6pt/9pt		
				126pt (44,5mm)	98,5pt (34,5mm)	
					九州大学	35pt (12,5mm)
			小塚ゴシック 7pt/11pt	Helvetica 6,5pt/9pt		42pt (15mm)
			大学院芸術工学研究部 大学院芸術工学府 芸術工学部	Faculty of Design Graduate School of Design School of Design Kyushu University		9,5pt (3,3mm)
			815-8540 福岡市南区塩原 4-9-1 Phone: 092-553- Fax: 092-553-	Shiobaru 4-9-1, Minami-ku, Fukuoka, Japan, 815-8540 Phone: +81 92 553 Fax: +81 92 553		
			小塚ゴシック 6pt/9pt	小塚ゴシック 6pt/9pt		
				193pt (68mm)		35pt (12,5mm)
					KYUSHU UNIVERSITY	42pt (15mm)
				6-10-1, Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka812-8581, Japan Phone:092-642 Fax:092-642		
				Helvetica 7,5pt/9,5pt		
				193pt (68mm)		35pt (12,5mm)
					KYUSHU UNIVERSITY	42pt (15mm)
				Faculty of Humanities Graduate School of Humanities School of Humanities	Helvetica 7,5pt/9,5pt	36pt (13mm)
				6-10-1, Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka, 812-8581 Japan Phone:092-642-1234, Fax:092-642-5678		
				Helvetica 7,5pt/9,5pt		
				193pt (68mm)		35pt (12,5mm)
					KYUSHU UNIVERSITY	42pt (15mm)
				Faculty of Design Graduate School of Design School of Design	Helvetica 8pt/10pt	36pt (13mm)
				4-9-1, Shiobaru, Minami-ku, Fukuoka, 815-8540, Japan Phone: +81 92 553 4500 Fax: +81 92 553 4501		
				Helvetica 8pt/10pt		

名刺 -1

名刺は、組織のアイデンティティを反映させつつ、個人の基本的な好みにも対応できるように、以下の2つのバリエーションを示しています。

■伝統的タイプ

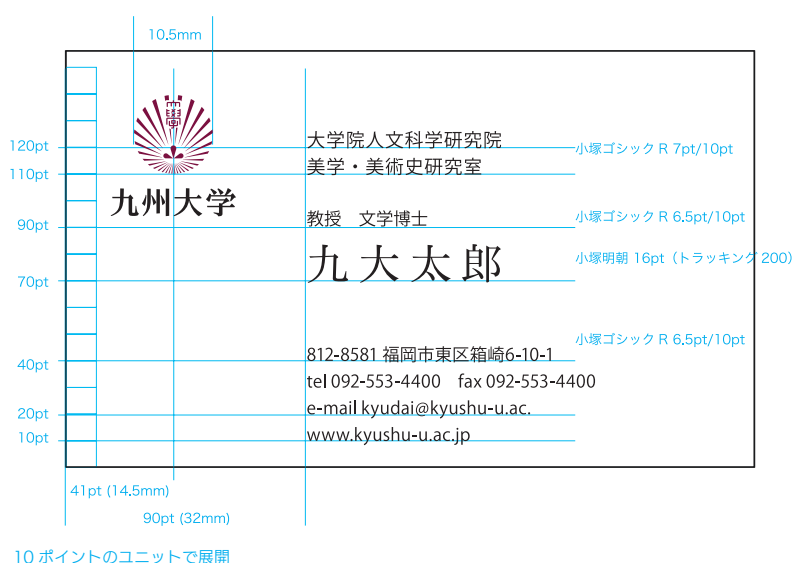
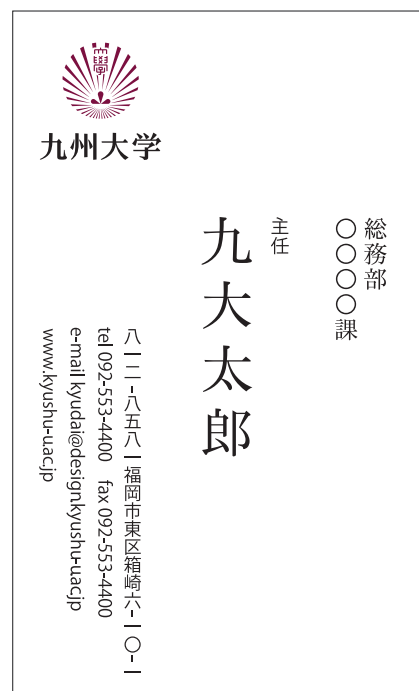
天地組み合わせタイプのシンボルロゴを用いています。横使い、および縦使いの名刺の両方があります。明朝体またはゴシック体が使用できます。オーソドックスで伝統的なイメージを与えるタイプです。

■標準タイプ

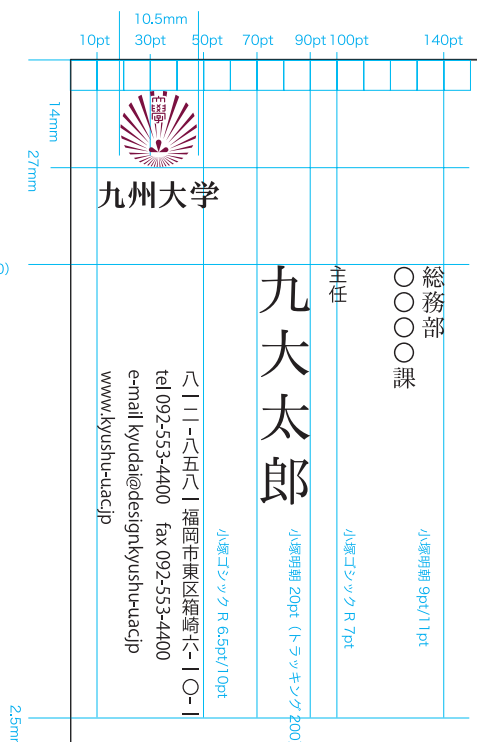
封筒と同様に、左右タイプのシンボルロゴをベースに展開しています。横使いのみです。 ■伝統的タイプ（縦）



■伝統的タイプ（横）

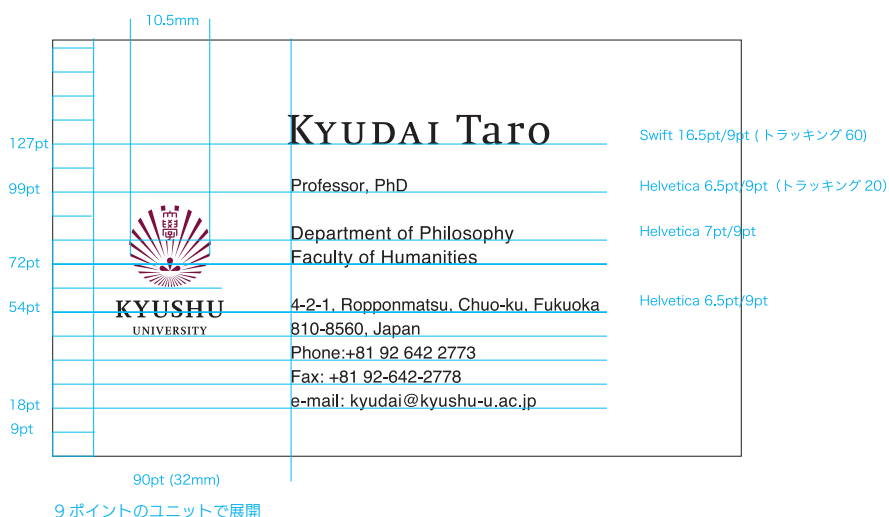


10ポイントのユニットで展開



名刺 -2

■伝統的タイプ (英文)



名刺 -3

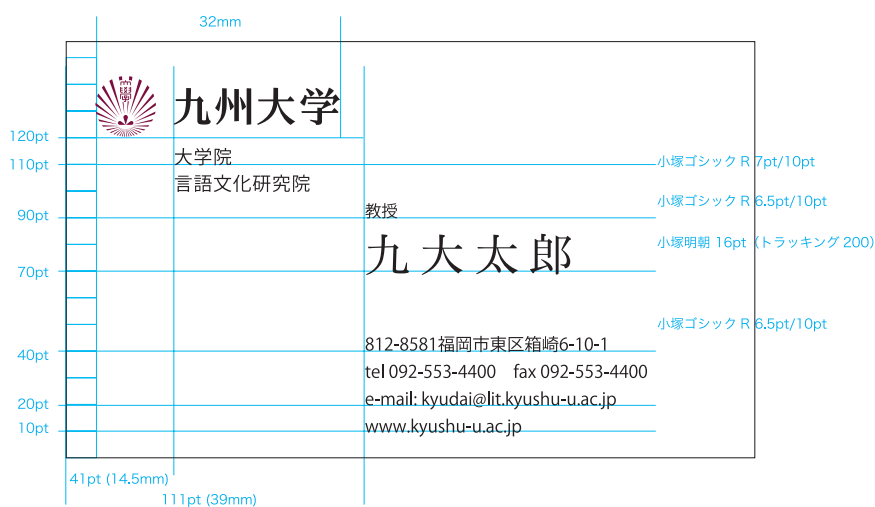
■標準タイプ

カテゴリー 1：大学本部の事例



■標準タイプ

カテゴリー 2a：シンボルロゴを持たない部局の事例



10ポイントのユニットで展開

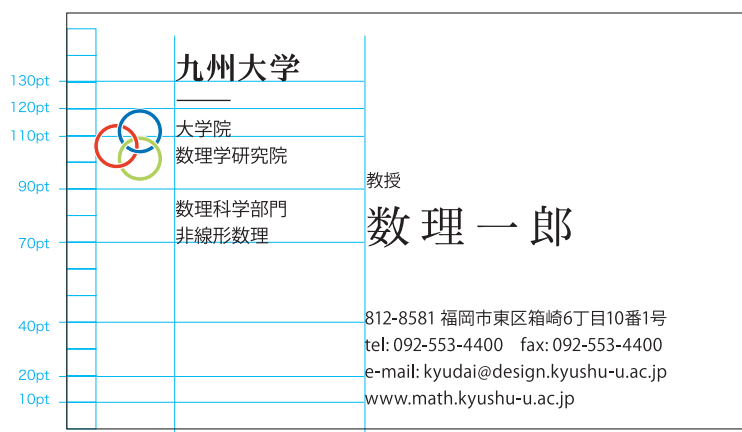
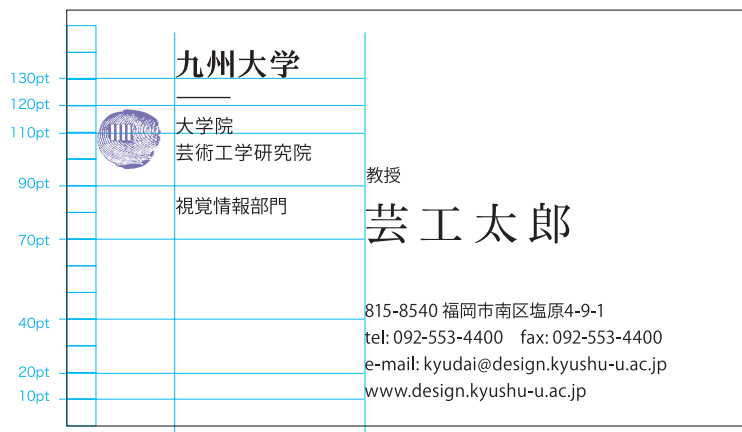
名刺 -4

■標準タイプ

カテゴリー 2b：シンボルロゴを持つ
部局の事例



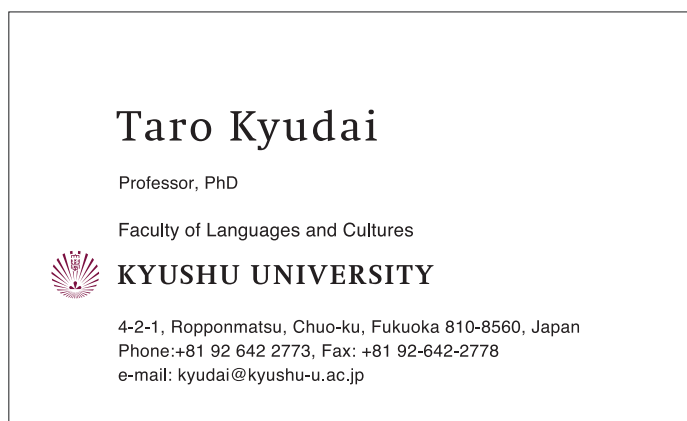
10 ポイントのユニットで展開



名刺 -5

■標準タイプ (英文)

カテゴリー 2a：シンボルロゴを持たない部局の事例

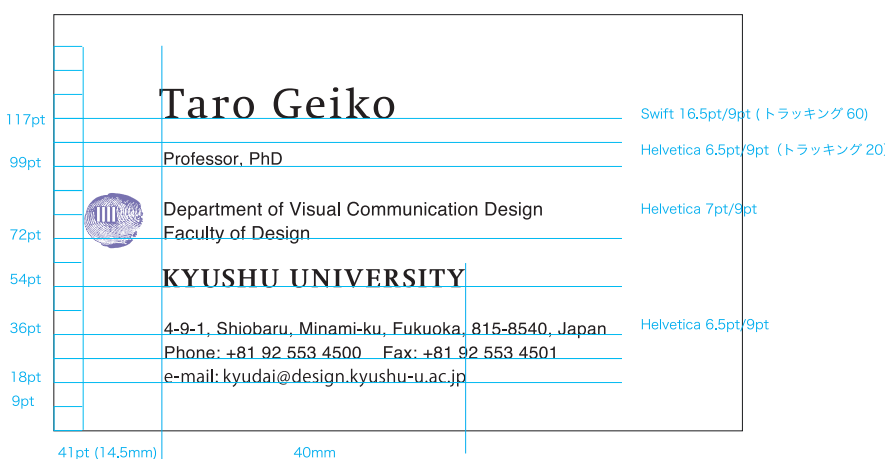
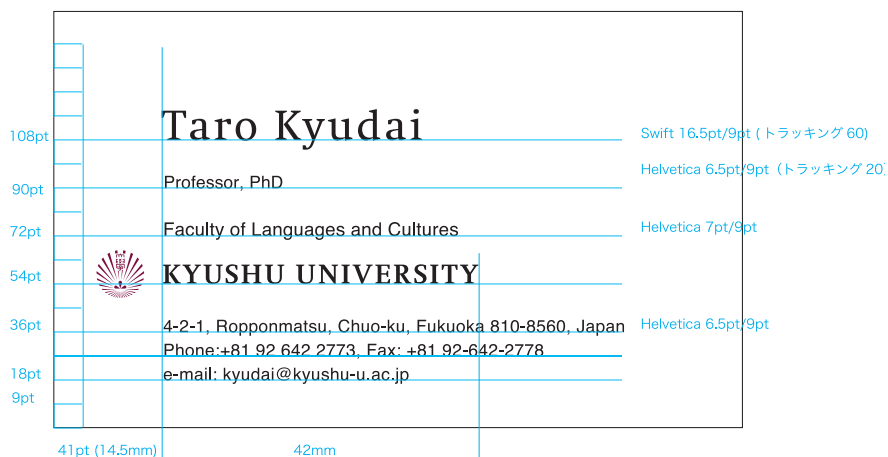


■標準タイプ (英文)

カテゴリー 2b：シンボルロゴを持つ部局の事例



9ポイントのユニットで展開



定期的に刊行される印刷物 -1

九州大学で毎年定期的に刊行される印刷物のうち、1) 大学概要（資料編、写真編）、2) 紀要、報告書、3) 大学案内、4) 学生生活案内を代表的な事例として紹介し、UIの適用ルールの考え方を示します。

■印刷物の分類

印刷物は、主に内容、対象となる読者などの条件によって形式を重視するデザイン（フォーマル）と自由度の高いデザイン（フレキシブル）に分類されます。

この基準に基づいて、以下の基本的分類を行っています。

フォーマル→ 1) 大学概要（資料編、写真編）、2) 紀要、報告書

フレキシブル→ 3) 大学案内、4) 学生生活案内

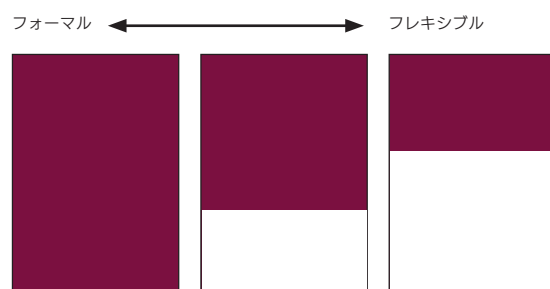
■分類に適用されるルール

フォーマル／フレキシブルの違いを表すために

以下の2つの方法を使用します。

1) 紙面に占めるUIカラーの面積の度合いで表現

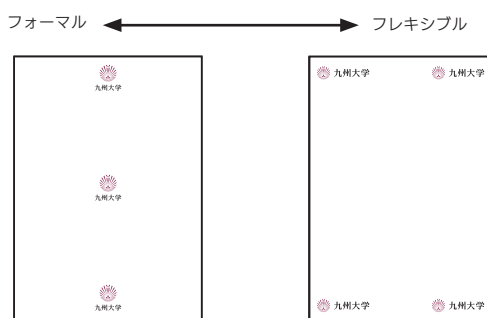
割合の比率は特に定めませんが、面積が大きいほどフォーマルとなります。



2) シンボルロゴのタイプと配置

フォーマル：天地組み合わせタイプ、左右センターに配置

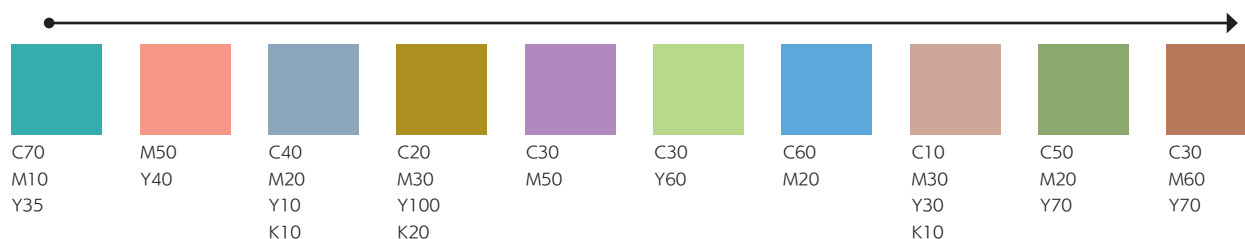
フレキシブル：左右組み合わせタイプ、左右に寄せた配置



■その他

1) 年度カラーシステムの提案

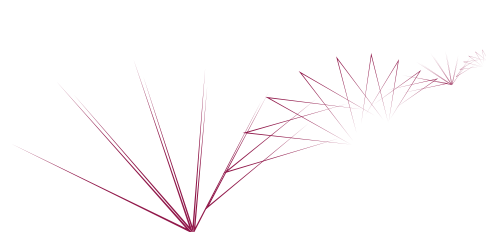
UIカラーのほかに、定期刊行される印刷物に限って、1) 印刷物相互に関連性を与えること、2) 2色印刷の場合における色彩計画の基準となること、以上の2点を目的として、10年単位で循環する以下の年度カラーシステムを提案します。2色印刷の場合には、近似した特色を用います。



2) 松をモチーフとしたビジュアルの使用（推奨）

イラストレーションなどで、特に特定のモチーフがない場合には、松をモチーフとしたビジュアルを用いるとUIの観点から効果的です。

松葉の幾何学的パターン



松葉の写真画像表現



松ぼっくりを被写体に



定期的に刊行される印刷物 -2

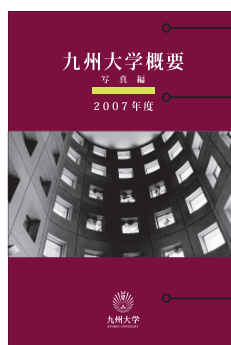
1) 大学概要（資料編、写真編）、2) 紀要、報告書、3) 大学案内、4) 学生生活案内の一覧

大学概要

■フォーマル

■4色印刷

ビジュアル：
松をモチーフ



地色：UIカラーを全面

帯：年度カラー

シンボルロゴ：天地組み合わせタイプ、左右センター揃え

紀要・報告書

■フォーマル

■2色印刷

地色：
年度カラーを全面



シンボルロゴ：天地組み合わせタイプ、左右センター揃え

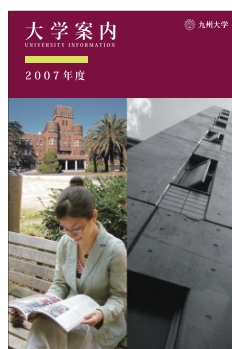
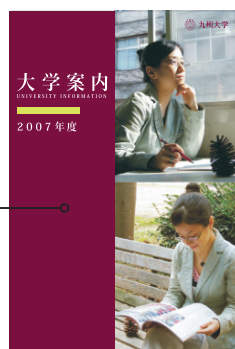


大学案内

■フレキシブル

■4色印刷

地色：
UIカラーを部分的に使用



シンボルロゴ：
左右組み合わせタイプ、右揃え

帯：年度カラー

ビジュアル：
松をモチーフ

学生生活案内

■フレキシブル

■2～4色印刷

ビジュアル：
松をモチーフ



帯：年度カラー

ビジュアル：学生作品

シンボルロゴ：
左右組み合わせタイプ、左揃え



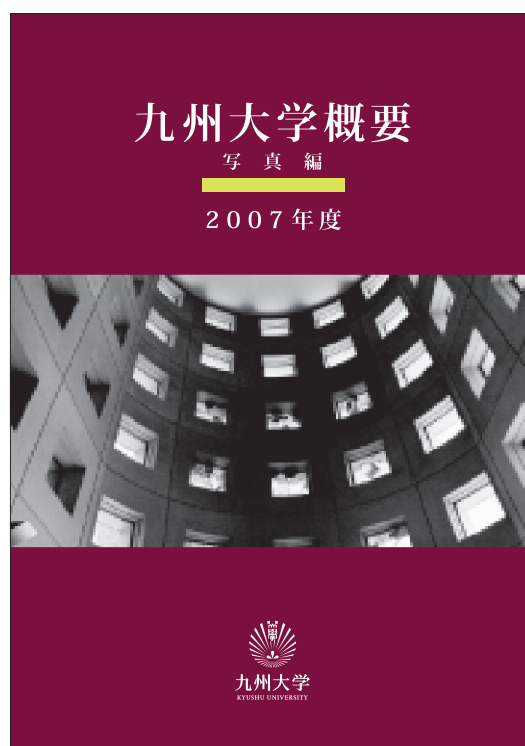
定期的に刊行される印刷物 -3

■大学概要（資料編、写真編）

資料編



写真編



■ 紀要・報告書

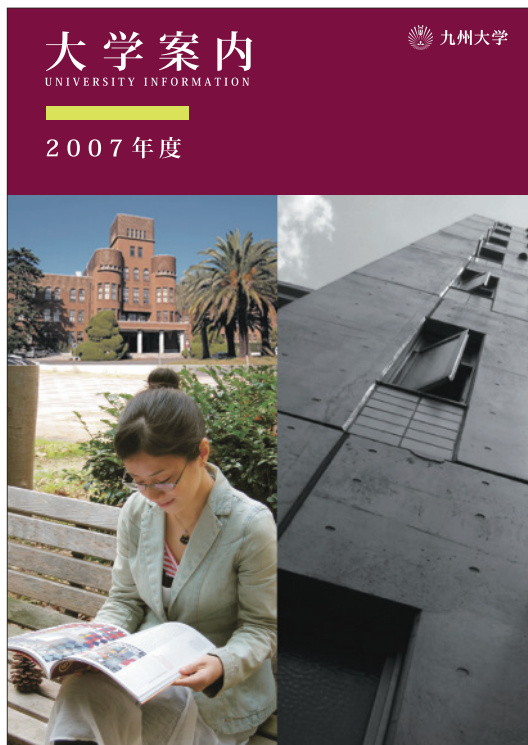
※表 1 と表 4

※表 1 と表 4

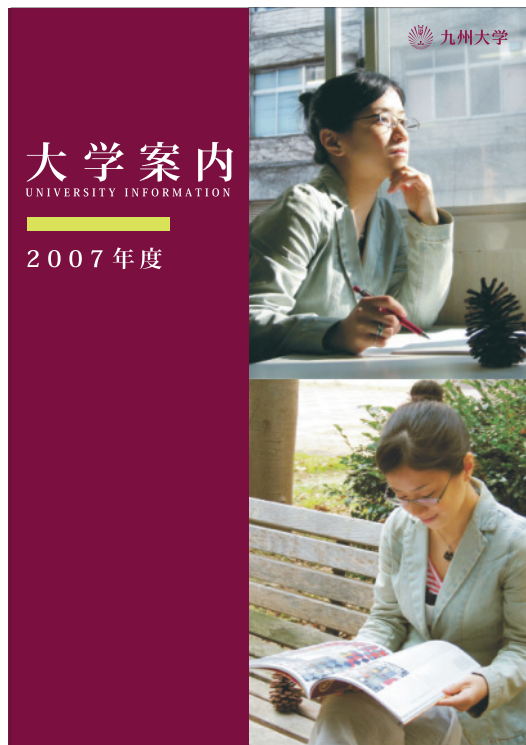
定期的に刊行される印刷物 -5

■大学案内

事例 01（帯状に UI カラーを展開）



事例 02（帯状に UI カラーを展開）



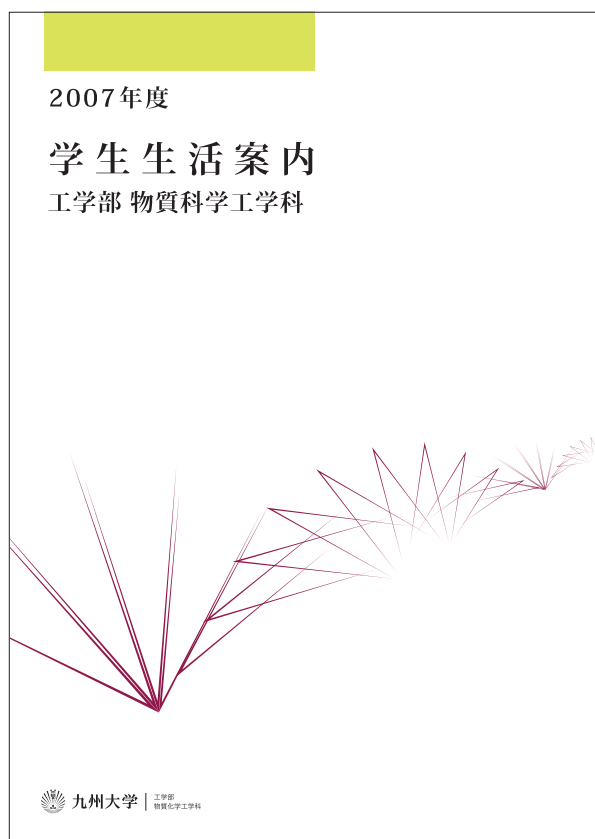
事例 03（ラベル状に UI カラーを展開）
開）



定期的に刊行される印刷物 -6

■学生生活案内

A4 版



A5 版



九州大学 UI マニュアル 改訂版

九州大学広報室

九州大学 大学院芸術工学研究院

脇山真治、池田美奈子、伊原久裕、藤 紀里子、(協力) 楊 寧

改訂： 2019 年 3 月 31 日

発行： 九州大学広報室